

注3

大学番号：私立専短001

[平成31年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人ヤマザキ学園

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 短期大学事務局

職名・氏名 シムキョクチョウ 事務局長 ヤマガチ 山口 ヒロフミ 博文

電話番号 03-3468-1101

（夜間） 03-3468-1101

F A X 03-3468-1102

e-mail soumu-t@yamazaki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜動物トータルケア学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人ヤマザキ学園

(2) 大 学 名

ヤマザキ動物看護専門職短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒150-0046
東京都渋谷区松濤2-3-10

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヤマザキ カオル) 山 崎 薫 (平成6年6月)		
学 長	(ヤマキタ ノブヒサ) 山 北 宣久 (平成31年4月)		
学 部 長	—		
学科長等	(ハナダ ミチコ) 花 田 道子 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
動物トータルケア学科 動物看護短期大学士（専門職）	農学関係	3年	80人	年次人 -	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80 (-) [-]	人 () []	80 (-) [-]		0.97倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	66 (-) [-]	— (-) [-]	125 (-) [-]	— (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	64 (-) [-]	— (-) [-]	120 (-) [-]	— (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	64 (-) [-]	— (-) [-]	105 (-) [-]	— (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	61 (-) [-]	— (-) [-]	95 (-) [-]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B／A							0.76		1.18				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」⁴を記入してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 [-] -	- [-] -	95 [-] -	- [-] -	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	58 [-] -	- [-] -	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 [-] (-)		153 [-] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	61 人	3 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
令和2年度	153 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		3 人		3 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a)

平成28年度の在学者数(b)

=

0

0

=

#DIV/0!

%

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a)

平成29年度の在学者数(b)

=

0

0

=

#DIV/0!

%

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a)

平成30年度の在学者数(b)

=

0

0

=

#DIV/0!

%

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a)

令和元年度の在学者数(b)

=

3

61

=

4.91

%

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a)

令和2年度の在学者数(b)

=

0

153

=

0

%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<動物トータルケア学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
① 基礎 科目	生命倫理	1前	2			1					
	心理学	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	キャリアマネジメント	1後		2				1			
	コミュニケーション論	1前		2							1
	英語Ⅰ	1通	2					1			
	英語Ⅱ	2前		1				1			
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ	1前	1								1
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ	2前		1							1
	生活とアート	2後		2							1
	小計(10科目)	－	5	12	0	1	0	2	0	0	5
② 職業 専門 科目	動物看護学概論	1前	2			1					
	動物形態機能学	1前	2			1					
	動物形態機能組織学	1後	2			1					
	動物形態機能学・組織学実習【※】	1後	1					1	1	4	
	動物臨床看護学(基礎・内科)	1前	2			1					
	動物臨床看護学(基礎・内科)実習【※】	1通	2			1				4	1
	動物臨床看護学(外科)	2前	2					1			
	動物臨床看護学(外科)実習【※】	2通	2					2		4	
	動物口腔ケア論	3前		1							1
	動物口腔ケア実習【※】	3後		1						4	1
	訪問動物看護学	2前	2								1
	動物看護ソーシャルワーク	2後	2				1				
	動物生理・繁殖学	1前	2			1					1
	動物病理学	1後	1			1					
	動物薬理学	2前	2			1					
	公衆衛生学	1前	2			1					
	動物感染症学	1後	2			1					
	環境生物学	2後		1		1					
	動物臨床検査学	1後	2					1			
	動物臨床検査学実習【※】	1後	1					1	1	4	
	動物臨床栄養学	2後	2			1					
	動物行動学	1後	2								1
	動物リハビリテーション論	3前		2		1		1			
	動物人間関係学	3前	2				1				
	動物愛護・福祉と関連法規	3後	1								1
	伴侶動物学	1前	2						1		2
	動物飼育管理論	2前	2								2
	野生動物学	2後	1								1
	産業・実験動物学	3前	2								1
	動物トータルライフ環境論	2前	2								3
	動物トータルライフ演習	3前		1				1			1
	コンパニオンアニマルケア論	1前	2						1		1
	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)【※】	1通	3						1	4	
	コンパニオンアニマルケア実習(応用)【※】	2通	3						1	4	1
	コンパニオンドッグトレーニング論	2前	2					1			
	コンパニオンドッグトレーニング実習【※】	2通	3					1		4	
	臨地実習1【臨】	1後・2前	1					3	1		
	臨地実習2【臨】	1後・2前	1			1		3			
	臨地実習3【臨】	2後	4			3		1	2		
	臨地実習4【臨】	3前	4			1	1	3	1		
	臨地実習5【臨】	3後		5		2	1	1	1		
	臨地実習6【臨】	3後		5		1	1	2	1		
	動物実習短期留学【※】	2・3通		2				2			
	研修・ボランティア活動【※】	1・2・3通		1				1	1		
	小計(44科目)	－	70	19	0	4	1	6	2	4	15

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
① 基礎 科目	生命倫理	1前	2			1					
	心理学	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	キャリアマネジメント	1後		2				1			
	コミュニケーション論	1前		2							1
	英語Ⅰ	1通	2					1			
	英語Ⅱ	2前		1				1			
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ	1前	1								1
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ	2前		1							1
	生活とアート	2後		2							1
	小計(10科目)	－	5	12	0	1	0	2	0	0	5
② 職業 専門 科目	動物看護学概論	1前	2			1					
	動物形態機能学	1前	2			1					
	動物形態機能組織学	1後	2			1					
	動物形態機能学・組織学実習【※】	1後	1					1	1	4	
	動物臨床看護学(基礎・内科)	1前	2			1					
	動物臨床看護学(基礎・内科)実習【※】	1通	2			1				4	1
	動物臨床看護学(外科)	2前	2					1			
	動物臨床看護学(外科)実習【※】	2通	2					2		4	
	動物口腔ケア論	3前		1							1
	動物口腔ケア実習【※】	3後		1						4	1
	訪問動物看護学	2前	2								1
	動物看護ソーシャルワーク	2後	2				1				
	動物生理・繁殖学	1前	2			1					1
	動物病理学	1後	1			1					
	動物薬理学	2前	2			1					
	公衆衛生学	1前	2			1					
	動物感染症学	1後	2			1					
	環境生物学	2後		1		1					
	動物臨床検査学	1後	2					1			
	動物臨床検査学実習【※】	1後	1					1	1	4	
	動物臨床栄養学	2後	2			1					
	動物行動学	1後	2								1
	動物リハビリテーション論	3前		2		1		1			
	動物人間関係学	3前	2					1			
	動物愛護・福祉と関連法規	3後	1								1
	伴侶動物学	1前	2						1		2
	動物飼育管理論	2前	2								2
	野生動物学	2後	1								1
	産業・実験動物学	3前	2								1
	動物トータルライフ環境論	2前	2								3
	動物トータルライフ演習	3前		1				1			1
	コンパニオンアニマルケア論	1前	2						1		1
	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)【※】	1通	3						1	4	
	コンパニオンアニマルケア実習(応用)【※】	2通	3						1	4	1
	コンパニオンドッグトレーニング論	2前	2					1			
	コンパニオンドッグトレーニング実習【※】	2通	3					1		4	
	臨地実習1【臨】	1後・2前	1					3	1		
	臨地実習2【臨】	1後・2前	1			1		3			
	臨地実習3【臨】	2後	4			3		1	2		
	臨地実習4【臨】	3前	4			1	1	3	1		
	臨地実習5【臨】	3後		5		2	1	1	1		
	臨地実習6【臨】	3後		5		1	1	2	1		
	動物実習短期留学【※】(未開講)	2・3通		2				2			
	研修・ボランティア活動【※】(未開講)	1・2・3通		1				1	1		
	小計(44科目)	－	70	19	0	4	1	6	2	4	15

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
③展 開 科 目	ジェロントロジー	3前		2							1
	社会福祉学	2前		2							1
	少子高齢社会と人口問題	3前		1							1
	高齢者心理	2後		2							1
	死生学	3後		2							1
	産業論	3前		2							1
	起業論	3後		2							1
	消費者行動分析学	3後		2							1
	IT社会論	3後		1							1
	情報危機管理論	3後		1				1			1
	災害・危機管理論	3前		2		1					1
	医療安全	3後		2							1
	小計(12科目)	－	0	21	0	1	0	1	0	0	11
④総 合 科 目	動物トータルケア総合演習1	2通	1				1	1			
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1		1			
	小計(2科目)	－	2	0	0	1	1	2	0	0	0
合計(68科目)		－	77	52	0	5	1	6	2	4	28
卒業要件及び履修方法											
・卒業要件 1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。 2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。 3 展開科目 選択科目15単位修得すること。 4 総合科目 必修科目2単位修得すること。 上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。											
・履修制限 1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。											

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
③展 開 科 目	ジェロントロジー	3前		2							1
	社会福祉学	2前		2							1
	少子高齢社会と人口問題	3前		1							1
	高齢者心理	2後		2							1
	死生学	3後		2							1
	産業論	3前		2							1
	起業論	3後		2							1
	消費者行動分析学	3後		2							1
	IT社会論	3後		1							1
	情報危機管理論	3後		1				1			1
	災害・危機管理論	3前		2		1					1
	医療安全	3後		2							1
	小計(12科目)	－	0	21	0	1	0	1	0	0	11
④総 合 科 目	動物トータルケア総合演習1	2通	1				1	1			
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1		1			
	小計(2科目)	－	2	0	0	1	1	2	0	0	0
合計(68科目)		－	77	52	0	5	1	6	2	4	28
卒業要件及び履修方法											
・卒業要件 1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。 2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。 3 展開科目 選択科目15単位修得すること。 4 総合科目 必修科目2単位修得すること。 上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。											
・履修制限 1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。											

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
①基 礎 科 目	生命倫理	1前	2			1					
	心理学	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	キャリアマネジメント	1後		2				1			
	コミュニケーション論	1前		2							1
	英語Ⅰ	1通	2					1			
	英語Ⅱ	2前		1				1			
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅰ	1前	1								1
	コンピューターリテラシー(情報処理)Ⅱ	2前		1							1
	生活とアート	2後		2							1
	小計(10科目)	-	5	12	0	1	0	2	0	0	5
②職 業 専 門 科 目	動物看護学概論	1前	2			1					
	動物形態機能学	1前	2			1					
	動物形態機能組織学	1後	2			1					
	動物形態機能学・組織学実習【※】	1後	1					1	1	4	
	動物臨床看護学(基礎・内科)	1前	2			1					
	動物臨床看護学(基礎・内科)実習【※】	1通	2			1				4	1
	動物臨床看護学(外科)	2前	2					1			
	動物臨床看護学(外科)実習【※】	2通	2					2		4	
	動物口腔ケア論	3前		1							1
	動物口腔ケア実習【※】	3後		1						4	1
	訪問動物看護学	2前	2								1
	動物看護ソーシャルワーク	2後	2				1				
	動物生理・繁殖学	1前	2			1					1
	動物病理学	1後	1			1					
	動物薬理学	2前	2			1					
	公衆衛生学	1前	2			1					
	動物感染症学	1後	2			1					
	環境生物学	2後		1		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
② 職業専門科目	動物臨床検査学	1後	2					1			
	動物臨床検査学実習【※】	1後	1					1	1	4	
	動物臨床栄養学	2後	2			1					
	動物行動学	1後	2								1
	動物リハビリテーション論	3前		2		1		1			
	動物人間関係学	3前	2				1				
	動物愛護・福祉と関連法規	3後	1								1
	伴侶動物学	1前	2						1		2
	動物飼育管理論	2前	2								2
	野生動物学	2後	1								1
	産業・実験動物学	3前	2								1
	動物トータルライフ環境論	2前	2								3
	動物トータルライフ演習	3前		1				1			1
	コンパニオンアニマルケア論	1前	2						1		1
	コンパニオンアニマルケア実習(基礎)【※】	1通	3						1	4	
	コンパニオンアニマルケア実習(応用)【※】	2通	3						1	4	1
	コンパニオンドッグトレーニング論	2前	2					1			
	コンパニオンドッグトレーニング実習【※】	2通	3					1		4	
	臨地実習1【臨】	1後・2前	1					3	1		
	臨地実習2【臨】	1後・2前	1			1		3			
	臨地実習3【臨】	2後	4			3		1	2		
	臨地実習4【臨】	3前	4			1	1	3	1		
	臨地実習5【臨】	3後		5		2	1	1	1		
	臨地実習6【臨】	3後		5		1	1	2	1		
	動物実習短期留学【※】	2・3通		2				2			
	研修・ボランティア活動【※】	1・2・3通		1				1	1		
小計(44科目)		－	70	19	0	4	1	6	2	4	15
③ 展開科目	ジェロントロジー	3前		2							1
	社会福祉学	2前		2							1
	少子高齢社会と人口問題	3前		1							1
	高齢者心理	2後		2							1
	死生学	3後		2							1
	産業論	3前		2							1
	起業論	3後		2							1
	消費者行動分析学	3後		2							1
	IT社会論	3後		1							1
	情報危機管理論	3後		1				1			1
	災害・危機管理論	3前		2		1					1
	医療安全	3後		2							1
	小計(12科目)	－	0	21	0	1	0	1	0	0	11
④ 総合科目	動物トータルケア総合演習1	2通	1				1	1			
	動物トータルケア総合演習2	3通	1			1		1			
	小計(2科目)	－	2	0	0	1	1	2	0	0	0
合計(68科目)		－	77	52	0	5	1	6	2	4	28
卒業要件及び履修方法											
・卒業要件 1 基礎科目 必修科目5単位及び選択科目10単位修得すること。 2 職業専門科目 必修科目70単位及び選択科目の「臨地実習5」または「臨地実習6」の5単位を修得すること。 3 展開科目 選択科目15単位修得すること。 4 総合科目 必修科目2単位修得すること。 上記の要件を満たし本学に3年間以上在学し、必修科目77単位以上、選択科目30単位以上、計107単位以上を修得し、一般財団法人動物看護師統一認定機構が認定する認定動物看護師の受験資格を得ること。 ・履修制限 1学期ごとの履修単位数の上限は23単位とする。											

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。

・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・担当教員(兼任講師)の体調不良の理由により、2クラスで開講予定であった「心理学」(1年次前期開講選択科目)を1クラス59人開講に変更。

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成 2 9 年度開設であれば平成 2 8 年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	28 科目	0 科目	68 科目	40 科 [0]	28 科目 [0]	0 科目 [0]	68 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開、職業専門、総合	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	研修・ボランティア活動	1	1・2・3通	職業専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大防止のため。履修を希望する学生へはオンラインのオリエンテーションで次年度履修するよう案内した。
2	動物実習短期留学	2	2・3通	職業専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大防止のため。履修を希望する学生へはオンラインのオリエンテーションで次年度履修するよう案内した。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開、職業専門、総合	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 「研修・ボランティア活動」（1・2・3年次通年選択科目・1単位・実習）を履修した学生は夏季休暇中に北海道研修または海外研修（令和2年度はオーストラリアの予定）または担当教員が指定するボランティア活動に参加する。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み未開講とした。学生へは履修登録の際の配付物及びオンラインのオリエンテーションで案内した。 ・ 「動物実習短期留学」（2・3年次通年選択科目・2単位・実習）を履修した学生は夏季休暇中にオーストラリアに渡航し宿舎にて共同生活を行いながらオーストラリア動物園における研修に参加する。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み未開講とした。学生へはオンラインのオリエンテーションで案内した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（3）と廃止科目（4）の計	=	$\frac{2}{68}$	=	2.94 %
設置時の計画の授業科目数の計（A）				

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考			
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	ヤマザキ動物専門学校 （収容定員：80人、面 積基準：校舎等を保有 するに必要な面積）と 共用 図書館面積の登記面積 を実測値に変更。これ に伴う校地の案分面積 の変更したいため （2）			
	校 舎 敷 地	1,597.577㎡ 1,597.273㎡	0㎡	400.158㎡ 400.462㎡	1,997.735㎡				
	運動場用地	152.19㎡	0㎡	0㎡	152.19㎡				
	小 計	1,749.767㎡ 1,749.463㎡	0㎡	400.158㎡ 400.462㎡	2,149.925㎡				
	そ の 他	0㎡	251.295㎡	0㎡	251.295㎡				
	合 計	1,749.767㎡ 1,749.463㎡	251.295㎡	400.158㎡ 400.462㎡	2,401.22㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	ヤマザキ動物専門学校 （収容定員：80人、面 積基準：300㎡）と共用 図書館の登記面積を実 測値に変更したため （2）			
		3,440.415㎡ 3,241.39㎡	730.285㎡ 929.12㎡	482.75㎡	4,653.45㎡ 4,653.26㎡				
		(2,769.09㎡)	(911.31㎡)	(786.62㎡)	(4,467.02㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専門職短期大学全体		
		6室	0室	4室	1室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専門職短期大学全体		
		動物トータルケア学科			5 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専門職短期大学全体 図書：既設大学・専門学 校からの転用図書の整 理及び寄贈図書増加の ため(元) 学術雑誌：専門学校から の転用及び新規定期購 読の追加のため(元) 電子ジャーナル：新規契 約の追加のため(元) 視聴覚資料：既設大学か らの転用数増加のため (元) 機械・器具、標本：動作 確認の結果減少(元) 上記標本減少分につい て、新規購入で補充し たため(2) 図書、学術雑誌、視聴 覚資料の増加分につい ては、経常費で購入 (2)	
		動物トータル ケア学科	10,624 [554] 10,624 [554] 10,563 [554] -(10,226 [649])	37 [5] 37 [5] 34 [3] -(30 [3])	23 [16] 23 [16] -(20 [13])	20 19 -(18)	2,800 2,800 -(2,662)		91 89 -(91)
		計	10,624 [554] 10,624 [554] 10,563 [554] -(10,226 [649])	37 [5] 37 [5] 34 [3] -(30 [3])	23 [16] 23 [16] -(20 [13])	20 19 -(18)	2,800 2,800 -(2,662)		91 89 -(91)
	(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		ヤマザキ動物専門学校 と共用 図書館の登記面積を実 測値に変更したため （2）
248.08㎡ 247.89㎡			40		16,750冊				
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				ヤマザキ動物専門学校 と共用	
		197.82㎡		-					
(8)経費の見 積り及び 維持方法 の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	専門職短期大学全体 図書：図書購入費を開設 前年度と開設年度で分 割したため また、寄贈図書が増加 したため購入費総額を 減少(元) 設備：工事費用の減少 (元)
		教員1人当り研究費等	230千円	230千円	図書購入費	3,401千円 5,140千円	1,455千円 0千円	0千円	
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	85,367千円 86,162千円	25,308千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,430千円	1,280千円	1,280千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入、資産運用収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	ヤマザキ動物看護大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
動物看護学部	4	180	－	720	－	1.10	1.20	－	平成22	－	
動物看護学科	4	180	－	720	学士 (動物看護学)	1.10	1.20	－	平成22	東京都八王子市 南大沢4-7-2	
大学全体	4	180	－	720	－	1.10	1.20	－	－	－	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<動物トータルケア学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	山北 宣久 (77) ＜平成31年4月＞ 神学修士
		生命倫理学
専	教授	藤村 響男 (60) ＜令和2年10月＞ 獣医学博士
		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2
兼任	講師	藤村 響男 (60) ＜令和元年10月＞ 獣医学博士
		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学
専	教授	本田 三緒子 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（危機管理学）
		動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論 ※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※
専	准教授	山川 伊津子 (59) ＜令和2年4月＞ 修士(社会福祉学)
		動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	山北 宣久 (78) ＜平成31年4月＞ 神学修士
		生命倫理学
専	教授	藤村 響男 (60) ＜令和2年10月＞ 獣医学博士
		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2
兼任	講師	藤村 響男 (60) ＜平成元年10月＞ 獣医学博士
		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学
専	教授	本田 三緒子 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（危機管理学）
		動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論 ※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※
専	准教授	山川 伊津子 (60) ＜令和2年4月＞ 修士(社会福祉学)
		動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	山北 宣久 (79) ＜平成31年4月＞ 神学修士
		生命倫理学
専	教授	藤村 響男 (61) ＜令和2年10月＞ 獣医学博士
		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 臨地実習3 臨地実習5 動物トータルケア総合演習2
兼任	講師	藤村 響男 (61) ＜平成元年10月＞ 獣医学博士
		動物病理学 動物薬理学 動物感染症学
専	教授	本田 三緒子 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（危機管理学）
		動物形態機能学 動物形態機能組織学 公衆衛生学 動物リハビリテーション論 ※ 臨地実習2 臨地実習3 臨地実習4 災害・危機管理論※
専	准教授	山川 伊津子 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		動物看護ソーシャルワーク 動物人間関係学 臨地実習4 臨地実習5 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	加藤 剛 (44) ＜平成31年4月＞ 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※
専	助教	宮田 淳嗣 (33) ＜平成31年4月＞ 学士（動物看護学）
		コンパニオンアニマルケア 論※ 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア 実習（基礎） コンパニオンアニマルケア 実習（応用）※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5
専	助教	山村 拓也 (31) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）
		動物形態機能学・組織学実 習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動
実専	講師	山本 央子 (60) ＜令和2年4月＞ 専修学校
		コンパニオンドッグトレ ーニング論 コンパニオンドッグトレ ーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (53) ＜平成31年4月＞ 各種学校
		動物臨床看護学（外科）実 習 動物リハビリテーション論 ※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	加藤 剛 (45) ＜平成31年4月＞ 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※
専	助教	宮田 淳嗣 (33) ＜平成31年4月＞ 修士（獣医保健看護学）
		コンパニオンアニマルケア 論※ 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア 実習（基礎） コンパニオンアニマルケア 実習（応用）※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5
専	助教	山村 拓也 (32) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）
		動物形態機能学・組織学実 習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動
実専	講師	山本 央子 (60) ＜令和2年4月＞ 専修学校
		コンパニオンドッグトレ ーニング論 コンパニオンドッグトレ ーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (53) ＜平成31年4月＞ 各種学校
		動物臨床看護学（外科）実 習 動物リハビリテーション論 ※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	加藤 剛 (46) ＜平成31年4月＞ 文学修士/ The Degree of Master of Science in Education Curriculum, Instruction and Technology in Education(米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 動物実習短期留学※
専	助教	宮田 淳嗣 (34) ＜平成31年4月＞ 修士（獣医保健看護学）
		コンパニオンアニマルケア 論※ 伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア 実習（基礎） コンパニオンアニマルケア 実習（応用）※ 臨地実習1 臨地実習3 臨地実習5
専	助教	山村 拓也 (33) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）
		動物形態機能学・組織学実 習 動物臨床検査学実習 臨地実習3 臨地実習4 臨地実習6 研修・ボランティア活動
実専	講師	山本 央子 (61) ＜令和2年4月＞ 専修学校
		コンパニオンドッグトレ ーニング論 コンパニオンドッグトレ ーニング実習 臨地実習4 臨地実習6
実専	講師	井上 留美 (54) ＜平成31年4月＞ 各種学校
		動物臨床看護学（外科）実 習 動物リハビリテーション論 ※ 臨地実習1 臨地実習2 臨地実習3 動物トータルケア総合演習2 研修・ボランティア活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	高柳 信子 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物看護学概論 動物臨床看護学（基礎・内科） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	教授 (学科長)	花田 道子 (69) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物看護学概論 動物臨床看護学（基礎・内科） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (49) ＜平成31年4月＞ 学士（商学）/ Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（獣医学）
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	高柳 信子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物看護学概論 動物臨床看護学（基礎・内科） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	教授 (学科長)	花田 道子 (69) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物看護学概論 動物臨床看護学（基礎・内科） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (49) ＜平成31年4月＞ 学士（商学）/ Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（獣医学）
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
実専	講師	高柳 信子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物看護学概論 動物臨床看護学（基礎・内科） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	教授 (学科長)	花田 道子 (70) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物看護学概論 動物臨床看護学（基礎・内科） 動物臨床看護学（基礎・内科）実習 動物臨床栄養学 臨地実習3 臨地実習5
実(研)	講師	荒木 幸子 (50) ＜平成31年4月＞ 学士（商学）/ Associate in Applied Science(米国)
		キャリアマネジメント 動物トータルライフ演習※ 臨地実習2 臨地実習4 臨地実習5 動物実習短期留学※ 情報危機管理論※
実(研)	講師	藤原 恵利子 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）
		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習 臨地実習1 臨地実習4 臨地実習6 動物トータルケア総合演習1
実み	教授	谷川 力 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（獣医学）
		動物生理・繁殖学※ 環境生物学 臨地実習6

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	谷川 力 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物生理・繁殖学※
兼任	講師	近藤 美保子 (52) ＜平成31年4月＞ 準学士
		コンピューターリテラシー （情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー （情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	藤巻 裕子 (64) ＜平成31年4月＞ 法学士
		コミュニケーション論
兼任	講師	高野 八重子 (73) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒
		コンパニオンアニマルケア 論※
兼任	講師	鈴木 友子 (46) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学）
		動物臨床看護学（基礎・内 科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	濱部 有羽子 (67) ＜令和2年4月＞ 獣医学士
		訪問動物看護学
兼任	講師	天野 卓 (75) ＜令和2年10月＞ 農学博士
		野生動物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	谷川 力 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）
		動物生理・繁殖学※
兼任	講師	近藤 美保子 (52) ＜平成31年4月＞ 準学士
		コンピューターリテラシー （情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー （情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	藤巻 裕子 (64) ＜平成31年4月＞ 法学士
		コミュニケーション論
兼任	講師	高野 八重子 (73) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒
		コンパニオンアニマルケア 論※
兼任	講師	鈴木 友子 (47) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学）
		動物臨床看護学（基礎・内 科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	濱部 有羽子 (67) ＜令和2年4月＞ 獣医学士
		訪問動物看護学
兼任	講師	天野 卓 (76) ＜令和2年10月＞ 農学博士
		野生動物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 美保子 (53) ＜平成31年4月＞ 準学士
		コンピューターリテラシー （情報処理）Ⅰ コンピューターリテラシー （情報処理）Ⅱ 情報危機管理論※
兼任	講師	藤巻 裕子 (65) ＜平成31年4月＞ 法学士
		コミュニケーション論
兼任	講師	高野 八重子 (74) ＜平成31年4月＞ 高等学校卒
		コンパニオンアニマルケア 論※
兼任	講師	鈴木 友子 (48) ＜平成31年4月＞ 学士（獣医学）
		動物臨床看護学（基礎・内 科）実習 動物口腔ケア論 動物口腔ケア実習
兼任	講師	濱部 有羽子 (68) ＜令和2年4月＞ 獣医学士
		訪問動物看護学
兼任	講師	天野 卓 (77) ＜令和2年10月＞ 農学博士
		野生動物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菅野 多恵 (52) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare(英国)
		動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (60) ＜令和元年10月＞ 文学修士
		動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (68) ＜平成31年4月＞ 獣医学士
		伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア 実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (45) ＜平成31年4月＞ 獣医学士
		伴侶動物学※
兼任	講師	古川 力 (64) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		動物飼育管理論※ 産業・実験動物学
兼任	講師	堀井 隆行 (39) ＜令和2年4月＞ 修士（動物応用科学）
		動物飼育管理論※
兼任	講師	鈴木 友紀 (56) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菅野 多恵 (52) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare(英国)
		動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (61) ＜令和元年10月＞ 文学修士
		動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (69) ＜平成31年4月＞ 獣医学士
		伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア 実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (45) ＜平成31年4月＞ 獣医学士
		伴侶動物学※
兼任	講師	古川 力 (65) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		動物飼育管理論※ 産業・実験動物学
兼任	講師	堀井 隆行 (39) ＜令和2年4月＞ 修士（動物応用科学）
		動物飼育管理論※
兼任	講師	鈴木 友紀 (57) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菅野 多恵 (53) ＜令和3年10月＞ Applied Animal Behaviour and Animal Welfare(英国)
		動物愛護・福祉と関連法規
兼任	講師	杉山(佐藤) 尚子 (62) ＜令和元年10月＞ 文学修士
		動物行動学 消費者行動分析学
兼任	講師	早田 由貴子 (70) ＜平成31年4月＞ 獣医学士
		伴侶動物学※ コンパニオンアニマルケア 実習（応用）※
兼任	講師	小嶋 篤史 (46) ＜平成31年4月＞ 獣医学士
		伴侶動物学※
兼任	講師	古川 力 (66) ＜令和2年4月＞ 農学博士
		動物飼育管理論※ 産業・実験動物学
兼任	講師	堀井 隆行 (40) ＜令和2年4月＞ 修士（動物応用科学）
		動物飼育管理論※
兼任	講師	鈴木 友紀 (58) ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		動物トータルライフ環境論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥山 健二 (75) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論 ※
兼任	講師	宮下 めぐみ (45) ＜令和2年4月＞ 学士（獣医学）
		動物トータルライフ環境論 ※
兼任	講師	長岡 恵 (69) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任	講師	五十嵐 靖博 (52) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		ジェロントロジー
兼任	講師	大西 正行 (69) ＜令和3年10月＞ 経済学士
		少子高齢社会と人口問題
兼任	講師	曇 昭吉 (73) ＜令和3年4月＞ 経済学修士
		産業論
兼任	講師	竹田 昌弘 (58) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		I T 社会論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥山 健二 (75) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論 ※
兼任	講師	宮下 めぐみ (46) ＜令和2年4月＞ 学士（獣医学）
		動物トータルライフ環境論 ※
兼任	講師	長岡 恵 (70) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任	講師	五十嵐 靖博 (52) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		ジェロントロジー
兼任	講師	大西 正行 (69) ＜令和3年10月＞ 経済学士
		少子高齢社会と人口問題
兼任	講師	曇 昭吉 (73) ＜令和3年4月＞ 経済学修士
		産業論
兼任	講師	竹田 昌弘 (58) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		I T 社会論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥山 健二 (76) ＜令和2年4月＞ 学術博士
		動物トータルライフ環境論 ※
兼任	講師	宮下 めぐみ (47) ＜令和2年4月＞ 学士（獣医学）
		動物トータルライフ環境論 ※
兼任	講師	長岡 恵 (71) ＜令和3年4月＞ 専修学校卒
		動物トータルライフ演習※
兼任	講師	五十嵐 靖博 (53) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		ジェロントロジー
兼任	講師	大西 正行 (70) ＜令和3年10月＞ 経済学士
		少子高齢社会と人口問題
兼任	講師	
兼任	講師	竹田 昌弘 (59) ＜令和3年10月＞ 経営学修士
		I T 社会論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石渡 浩 (45) ＜令和3年10月＞ 修士（経済学）
		起業論
兼任	講師	福山 貴昭 (44) ＜令和3年4月＞ 修士（危機管理学）
		災害・危機管理論※
兼任	講師	斎藤 康介 (67) ＜令和2年10月＞ 短期大学士
		生活とアート
兼任	講師	加藤 理絵 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		心理学 高齢者心理
兼任	講師	新島 典子 (51) ＜令和元年10月＞ 修士（社会学）
		社会学 死生学
兼任	講師	鎌田 壽彦 (73) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		動物生理・繁殖学※
兼任	講師	庄司 拓也 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（史学）
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石渡 浩 (46) ＜令和3年10月＞ 修士（経済学）
		起業論
兼任	講師	福山 貴昭 (45) ＜令和3年4月＞ 修士（危機管理学）
		災害・危機管理論※
兼任	講師	斎藤 康介 (67) ＜令和2年10月＞ 短期大学士
		生活とアート
兼任	講師	加藤 理絵 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		心理学 高齢者心理
兼任	講師	新島 典子 (51) ＜令和元年10月＞ 修士（社会学）
		社会学 死生学
兼任	講師	鎌田 壽彦 (74) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		動物生理・繁殖学※
兼任	講師	庄司 拓也 (49) ＜令和2年4月＞ 修士（史学）
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石渡 浩 (47) ＜令和3年10月＞ 修士（経済学）
		起業論
兼任	講師	福山 貴昭 (46) ＜令和3年4月＞ 修士（危機管理学）
		災害・危機管理論※
兼任	講師	新島 典子 (52) ＜令和元年10月＞ 修士（社会学）
		社会学 死生学
兼任	講師	鎌田 壽彦 (75) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		動物生理・繁殖学※
兼任	講師	庄司 拓也 (50) ＜令和2年4月＞ 修士（史学）
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	今井 達男 (68) ＜令和3年10月＞ 薬学士	兼任	講師	今井 達男 (68) ＜令和3年10月＞ 薬学士	兼任	講師	今井 達男 (69) ＜令和3年10月＞ 薬学士
		医療安全			医療安全			医療安全
						兼任	講師	越村 義雄 (73) ＜令和3年4月＞ 商学士
								産業論
						兼任	講師	長能 美香 (53) ＜令和2年10月＞ 修士（芸術）
								生活とアート
						兼任	講師	渡辺 紀子 (50) ＜令和2年4月＞ Master of Science
								心理学 高齢者心理

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】 特になし。
【令和2年度】 ・令和元年10月壘昭吉兼任講師死去のため、令和3年4月から越村義雄兼任講師を採用予定。 ・斎藤康介兼任講師就任辞退により、長能美香兼任講師に変更。 ・加藤理恵兼任講師辞任により、渡辺紀子兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
13 名	4 名	6 名	3 名

(注) ・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【専門職大学等】

設 置 時 の 計 画						現 在（報告時）の 状 況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ A ）	助手 （ A' ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ B ）	助手 （ B' ）
5	1	6	2	14	4	4	1	6	2	13	4
(3)	(0)	(5)	(2)	(10)	(4)						
専任教員数 （ 専 ）	専任教員数 （ 実 専 ）	専任教員数 （ 実（ 研 ） ）				専任教員数 （ 専 ）	専任教員数 （ 実 専 ）	専任教員数 （ 実（ 研 ） ）			
7	3	4				6	3	4			
(5)	(2)	(3)									
現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 状 況						現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 計 画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ C ）	助手 （ C' ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ D ）	助手 （ D' ）
5	1	6	2	14	4	5	1	6	2	14	4
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
専任教員数 （ 専 ）	専任教員数 （ 実 専 ）	専任教員数 （ 実（ 研 ） ）				専任教員数 （ 専 ）	専任教員数 （ 実 専 ）	専任教員数 （ 実（ 研 ） ）			
7	3	4				7	3	4			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	2 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{13} = \boxed{15.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{4} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- （注）
- ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- （注）
- ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

14

=

0

%

- （注）
- ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合 計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (平成30年11月)	1. 設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を育成するという専門職短期大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置計画の通り履行している。 附帯事項の「深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を育成するという専門職短期大学の目的に照らし・・・（以下、省略）」については、FD・SD委員会において、教育研究向上のための研修会を実施した。さらに研究委員会において、研究に係る各種規定の作成、不正行為の監視と調査、研究の不正行為に関する講習会の企画・実施、外部研究資金の募集案内、教員へ学会・研究会等案内を行っている。また、教員の資質・能力向上を目指し、年間研究業績のまとめや教員の連携による研究（検体の有効な利用等）を実施している。	ヤマザキ動物看護専門職短期大学は、平成31（2019）年4月1日に開学し、開学以降、現在に至るまで設置計画に則り、教育研究活動に邁進してきた。 本学では、設置計画の適正な履行を踏まえながら、さらなる教育研究環境の充実のため、渋谷キャンパス2号館A棟に繋がるB棟を自己資金において増築する計画を立案した。 この計画では、現在、2号館に隣接する体育館（197.82㎡）を解体し、5階建の校舎、2号館B棟を増築する。2号館B棟校舎内には、1階に体育館、予備室、2階に個人研究室8室、3階に個人研究室7室及び面談室1室、4階に多目的室2室、5階に多目的室1室を配置する。 この増築により解体した体育館については、新たに212.3㎡の体育館を2号館B棟1階に配置する。また、2号館B棟の2・3階に完全個室の個人研究室1～15（約15㎡）を設置することにより、2号館A棟6・7階の共同研究室1～5（研究室1～15）を廃止する。2号館A棟7階の予備室3は、2号館B棟4階の多目的室2へ移設する。 なお、2号館B棟4階の多目的室2については、当面、自習室等として活用する。 今後もFD・SD委員会、研究委員会を中心に教育研究水準の向上に努める。令和2年度には、ヤマザキ動物看護大学の業績集（年報）への研究論文掲載を計画している。

認可時 (平成30年11月)	2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項	定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、学生の教育に支障をきたさないよう、教授会で協議の上、段階的に後任として適切な人員を補充する。具体的には、完成年度以降、80歳を迎える学長が担当する科目については、速やかに後任の教員を配置する。また、72歳及び65歳を迎える教授においても速やかに後任の教員を配置する。後任人事については、教授会の意見を聴き、理事長を委員長とした中長期構想委員会にて決定する。	履行中	令和2年度以降、学生の教育に支障をきたさないよう、教授会で協議の上、中長期構想委員会において、若手教員の採用も踏まえ、適切な年齢構成のバランスを踏まえた上で人事計画を立てる。
認可時 (平成30年11月)	3. 臨地実務実習において、実習評価表による実習評価を適切に行い、教育の質を確保すること。また、臨地実務実習の実習指導者の質を確保するために行うこととしている大学教員と指導者とのミーティングについては、学生の教育効果が向上するよう充実した内容にするとともに、事後の検証を毎年度行い内容の改善を図り、実習指導者の質の確保に取り組むこと。	遵守事項	「臨地実習1」及び「臨地実習2」については、実習評価表に基づき適正な評価を行った。 また、臨地実務実習先の指導者を臨地実務実習委員会に招聘し、意見を聞くなど密接な連携を行い、教育効果を高めるように努めた。 さらに、第1回教育課程連携協議会において「臨地実務実習」の報告及び出席者への意見聴取を行うなど、実習内容の改善に向けた対応を行っている。 なお、「臨地実習1」及び「臨地実習2」については、1年次後期及び2年次前期に配当されているため、すべてが修了する令和2年5月以降の適切な時期に事後検証を行い、質の確保に取り組む。	履行中	令和2年度には、動物病院で行う「臨地実習3」及び動物関連企業等で行う「臨地実習4」が配当されている。 「臨地実習3」及び「臨地実習4」の開始までには、臨地実務実習先の実習指導者参加の実習指導者会議を開催し、実習内容、実習評価等の研修を行い、実習指導者の質向上を図る。 また、「臨地実習3」及び「臨地実習4」の終了後には、事後検証を行う。
認可時 (平成30年11月)	4. 展開科目について、専任教員の配置の充実を検討しつつ、人材育成の目的とする職業分野において創造的な役割を果たすために必要な能力を育成するという展開科目の目的を踏まえ、更なる充実に努めること。	遵守事項	完成年度までの設置認可申請における展開科目の担当教員は、専任教員2人、兼任教員12人で計画どおり開講する予定である。 なお、教育課程連携協議会において関連する他分野に関わる構成員からの意見・情報等を反映させ、専任教員の配置等も踏まえ、完成年度以降、カリキュラムの編成等の見直しを検討する。	履行中	令和2年度前期から展開科目が開講するため、授業終了後の「学生による授業評価アンケート」などを基に、教育課程連携協議会の構成員から意見・情報を聴取する。

認可時 (平成30年11月)	5. 「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」において学ぶこととしている人工知能等については技術の進展が早いと、最新の技術の内容を学ぶことができるように、ファカルティ・ディベロップメントの充実を含め授業内容を充実させていくことが望ましい。	助言事項	FD・SD委員会において「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」で教授する人工知能等についてのFD研修「情報教育におけるAI・AR」については、令和2年3月に計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請に対応し、開催を延期した。 なお、「コンピューターリテラシー（情報処理）Ⅱ」の担当教員には、AI等の書籍を配布し、研修会開催までの間、自己研鑽を促している。	履行中	人口知能等に関するFD研修については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、実施する。 人工知能等については技術の進展が早いと、今後、その分野の詳しい専門家を招聘し、FD・SD研修の充実を図るよう努める。
------------------------------	---	-------------	---	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<動物トータルケア学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①授業方法に適した学生数の設定 原則として、講義は1クラス40人とする。	令和元(2019)年度に開講した講義科目である「心理学」(1年次前期2単位)について、2クラスで実施すると計画していたが、科目担当の加藤理絵兼任講師が体調不良のため、例外的措置として、令和元年度に限り履修者59人を1クラスとして開講した。 その際、十分な教育効果を上げるために次のような取組を行い配慮した。 ・グループワークを取り入れ、ディスカッション、協同での課題取り組みを行わせることにより学生の理解を深め、モチベーションを高める工夫を行った。 ・毎回リアクションペーパーとして質問や感想を書く課題を与え、それに対して次の講義において講師より説明を行うというインタラクティブに学習できる環境作りを行った。 評価は、授業への参加度・意欲度(70%)、教場試験(30%)で行った。その結果、S判定が26名、A判定が18名、B判定が9名、C判定が4名、D判定が2名であり、44名(74.5%)がSもしくはA判定という結果となり、59名で実施した場合でも上記の配慮により十分な教育効果を得られた。なお、D判定2名は出席不足が主な理由であった。 令和2年度からは科目担当者に渡辺紀子兼任講師が就任し、2クラスで開講する。
②令和2年度学事日程及びオンライン授業	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、次のような対応を行った。 ・令和2(2020)年度の入学式は中止し、オリエンテーションについては、オンライン形式で開催した。なお、オリエンテーションの内容(理事長・学長挨拶、履修登録方法、学生生活の諸注意、オンライン授業受講の際の情報倫理(モラル)について、図書館について等)については、学生からメールや電話等で質問を受け付けるなど、丁寧な対応を行った。 ・授業期間については、4月4日(土)開始を5月11日(月)に延期した。授業開始までの期間は自宅学習期間とし、学生に前期初回3回分の授業について各科目ごとの課題を課し、各科目担当責任者が課題作成に向けサポートを行った。 - また、クラスアドバイザー(クラス担任)制度を活用し、授業開始延期後は、一人ひとり電話及びメール等で心身の健康状態や相談などを受け付ける対応を行った。 ・5月11日(月)からの授業においては、時間割に沿ってオンライン授業を実施している。実施にあたり、本学園教職員による「オンライン教育開発プロジェクト」が設置され、4月24日(金)及び5月1日(金)に「遠隔授業に関するオンラインセミナー-導入編-」を開催、専任教職員及び非常勤講師が参加し、Web利用遠隔授業の実際、本年度における著作権に関する特例について、eラーニングのMoodleの紹介およびオンライン会議システムZoom利用上の注意等についての研修を行った。

③校舎等設備の整備計画

教育研究環境の整備

教育研究環境のさらなる充実のため、研究室、面談室等の整備計画を以下の通り変更する。

1. 設置計画変更の概要

本学は、平成31（2019）年4月1日に開学し、開学以降、現在に至るまで設置計画に則り、教育研究活動に邁進してきた。本学では、設置計画の適正な履行を踏まえながら、さらなる教育研究環境の充実のため、渋谷キャンパス2号館A棟に繋がるB棟を自己資金において増築する計画を立案した（資料1-1、資料1-2、資料2-1～2-8）。

この計画では、現在、2号館に隣接する体育館（197.82㎡）を解体し、5階建の校舎、2号館B棟を増築する。2号館B棟校舎内には、1階に体育館、予備室、2階に個人研究室8室、3階に個人研究室7室及び面談室1室、4階に多目的室2室、5階に多目的室1室を配置する。

この増築により解体した体育館については、新たに212.3㎡の体育館を2号館B棟1階に配置する。また、2号館B棟の2・3階に完全個室の個人研究室1～15（約15㎡）を設置することにより、2号館A棟6・7階の共同研究室1～5（研究室1～15）を廃止する。2号館A棟7階の予備室3は、2号館B棟4階の多目的室2へ移設する。

なお、2号館B棟4階の多目的室2については、当面、自習室等として活用する。

この度の増築工事については、在学生の利便性に鑑み、できるだけ早期に設計・施行の会社と契約を締結し、着工したいと考えている。

参考：設置認可申請書添付の完成年次の教室一覧表：資料3。

2. 設置計画変更の必要性

現在、本学2号館A棟に隣接する体育館は、平成18（2006）年に建築した平屋の建物で、令和1（2019）年10月の台風19号の被害を受けたため、簡易な補修を施した状況である。このため、「コンパニオントレーニング実習」（2年次通年、必修3単位）の授業にも支障をきたす恐れがあり、早急に解決する必要がある。

また、2号館A棟6・7階に配置されている共同研究室1～5（研究室1～15）は、1つの共同研究室内に3個人研究室が配置されており、各個人研究室をパーテーションで間仕切りしているため、隣の研究室の教員や学生の会話が聞こえる状況である。このため、学生相談のために別途個人面談室を用意しているが、学生に利用を促しても教員の研究室を訪問することが多い状況である。研究室の静寂性とプライバシーを保つことが困難な状況であり、完全個室の個人研究室の確保が必要と考える。

以上のことから、2号館A棟6・7階の共同研究室1～5（研究室1～15）は、2号館B棟2・3階に完全個室の個人研究室1～15として移設する。個人研究室の更なる整備は、教員の教育研究環境及び学生指導の向上に繋がる。

以上のことから、体育館、個人研究室15室、多目的室を含む2号館B棟を増築することを計画した。

3. 建設期間における実習授業等への対応

2号館B棟を建設する約1年間（工期：令和2（2020）年11月～令和3（2021）年11月）は、体育館を使用できないが、代替措置として1号館5階の351・352教室を1教室の講義兼実習室として「コンパニオンドッグトレーニング実習」（180分30回）を行う。なお、この2教室を「コンパニオンドッグトレーニング実習」の授業に使用しても、他の教室で十分に授業運営を行うことができることを時間割で示す（資料4-1～4-3）。

また、体育館は、「コンパニオンドッグトレーニング実習」の授業以外にも学生の運動・レクリエーション施設としての役割がある。現在、学生の運動系サークルは、ダンスサークル アウトドアサークルのみで、これまで体育館の使用実績は全くない。工事期間中に学生から体育館を使用したい旨の要望があった場合は、学外施設を借用するなど学生の運動・レクリエーション活動をサポートする。

④定年規程の改定（定年年齢の引き上げ）	定年延長という社会的な動向を踏まえると共に、組織の継続性を考慮し、定年の年齢を65歳から70歳へと引き上げた。（施行日：令和2年4月1日）（資料5）
---------------------	--

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

本学では、教員の資質の維持向上の方策のために、FD・SD委員会を設置した。以下のとおり、「ヤマザキ動物看護専門職短期大学FD・SD委員会規程」（令和元年5月23日（木）理事会承認）をもとに、説明する。

a 委員会の設置状況

（目的）

第1条 この規程は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）学則第4条の規定に基づき、全教職員が教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を定期的に設け、併せて両者の連携体制の確保を図るため、FD（Faculty Development）・SD（Staff Development）委員会（以下「FD・SD委員会」という。）の運営に関する必要な事項を定めることを目的とする。

2 必要に応じて小委員会を置くことができる。

（構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学科長
- (2) 教務部長
- (3) 事務局長
- (4) 法人本部総務部長
- (5) 専任教職員の中から学長が指名した者

（任期）

第3条 前条第1項第1号及至第4号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項第5号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長等）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は学科長とする。

3 副委員長は、委員の互選により決する。

4 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

5 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度におけるFD・SD委員会は、①学科長、②教務部長、③事務局長、④法人本部総務部長、⑤専任教職員の中から学長が指名した者から構成されている。委員長は学科長とし、議長となる。現在（令和2年5月）は、計6名（教員4人、職員2人）の教職員が委員となっている。このような構成員及び出席者により、令和元年度は、平成29年6月25日（火）に開催した。

c 委員会の審議事項等

（審議事項）

第7条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育に関する情報及び資料の収集、分析並びに改善策の立案に関する事項
- (2) カリキュラムの点検、評価及び改善策の立案に関する事項
- (3) 授業方法の改善に係る研修に関する事項
- (4) ファカルティディベロプメントに対する支援に関する事項
- (5) 事務職員の職責向上の遂行及び質的向上の推進に関する事項
- (6) 教職員の研修等に関する事項
- (7) 教職員の連携及び教育環境の整備に関する事項
- (8) その他学長が諮問した事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教育研究にかかわる研修
- ・ 授業科目の教育目標の周知・徹底
- ・ カリキュラムの改善
- ・ シラバスに関連する対応
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 授業評価アンケート
- ・ FD・SD関連の情報収集と周知
- ・ 教職員の研究会、研修会への派遣
- ・ FD・SDに関する研修

b 実施方法

- ・ 教育研究にかかわる研修
担当授業を開始する前に、各教員が、大学・学科の教育上の目的や養成する人材像について共通の認識を持つことができるようにするため、委員長は、教員に対して研修の機会を設ける。
- ・ 授業科目の教育目標の周知・徹底
各授業科目の教育目標や位置付け、他の授業科目との関連(授業内容及び授業範囲)について、十分に討議・連携を踏まえ、各教員が担当する授業の内容・方法等を決定する。
- ・ カリキュラムの改善
教育内容の向上を図るために、継続的にカリキュラムの改善を行う。すなわち、体系的に学修できる必修科目の検討など、カリキュラムの改善を図る。その際には、学生による授業評価と教員による自己評価を参考に、動物看護、特に訪問看護や在宅ケアの教育研究に考慮したカリキュラムの改善を目指す。
- ・ シラバスに関連する対応
シラバスの内容の充実・改善を図るために、FD・SD委員会、教務委員会等において、担当科目の内容、教育目標、成績評価基準、教科書や参考書の指定等のシラバスの記載項目並びに記載方法等を検討する。
- ・ 教員相互の授業参観
教員相互で授業の参観を実施し、各教員の授業内容及び方法の改善を図る。
- ・ 授業評価
学期の最終授業時に各科目の授業評価アンケートを行い、授業の改善資料とする。このアンケート結果は自己点検・評価の際にも活用する。
- ・ FD・SD関連の情報収集と周知
他大学並びに諸団体におけるFD・SD関連の成果・資料等の情報を収集し、これらを教職員に周知する。
- ・ 教職員の研究会、研修会への派遣
他大学並びに諸団体が開催するFD・SD関連の研究会、研修会等に積極的に教職員を派遣する。
- ・ FD・SDに関する研修
全教職員がFD・SD活動の必要性和重要性を共通に認識するために、学内において、FD・SDに関する講習会等を定期的に開催する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD委員会が主体となり、令和元年度は以下のセミナー実施した。
 - 4月1日（月）「ヤマザキ学園の使命（建学の精神・教育理念）」講師：山崎薫理事長（教職員対象）
 - 6月10日（月）「高等教育の設置に求められるFDの抄論」講師：池本卯典前日本獣医生命科学大学学長（教職員対象）
 - 6月26日（水）「ドクターズシリーズ（ダイエット・ケア）フードセミナー」
講師：NOSAN 水村麻友香（教員対象）
 - 7月5日（金）「愛玩動物看護師の国家資格化と未来像について」
講師：山崎薫（一社）日本動物看護職協会 動物看護師国家資格化推進委員会委員長（教職員対象）
 - 7月26日（金）「夏季におけるペット（モデル犬を含む）スキンケアセミナー」
講師：バイエル薬品株式会社 堀木研子（獣医師）（教員対象）
 - 9月13日（金）「学校関係者評価研修会～学校関係者評価と改善への取り組み～研修報告」
講師：ヤマザキ動物専門学校 事務部長 佐藤恵子（職員対象）
 - 9月13日（金）「『愛玩動物看護師法』制定の報告及び本学の中長期計画について」
講師：山崎薫理事長（職員対象）
 - 10月2日（水）「ヒトの看護の現状と概要」講師：公益社団法人東京都看護協会会長 山元恵子（教職員対象）
 - 11月15日（金）「本学の中長期計画及び進捗状況について」講師：山崎薫理事長（職員対象）

11月26日（火）「ペットのオーラルケアセミナー」講師：DSファーマー山田知秀（教員対象）

3月10日（火）「より良い大学創り、教育改善を進めるために～『私学法』改訂と『グランドデザイン答申』を基に考える～」（教職員対象）（新型コロナウイルス感染予防のため延期）

教職員対象セミナーにおいては、各回140人程度（併設校からの参加者含む）の参加があり、教員対象セミナーでは各回10～15人の参加があった。また、職員対象セミナーでは各回50人程度（併設校からの参加者含む）の参加があった。

上記に加えて、令和2年4月には、オンライン教育開発プロジェクトにより、オンライン授業についての研修会を実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートの集計結果に対し、各科目責任者が「2019年度授業改善等に関する報告書」を提出し、改善に努めている。
- ・非常勤講師においては、教職員会議において授業運営上の様々な問題点が報告され、その対策について協議し、これらの内容を共有し確認することで、授業運営方法の統一化を図ることを目的に計画したが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止された。そのため、メール等で各教員からの報告を受け、改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートは、最終授業の10分程度を利用して行うこととし、前期開講科目は令和元年7月22日（月）～7月30日（火）、後期開講科目及び通年開講科目は令和2年1月15日（水）～1月28日（火）に行った。ただし、後期開講科目の「動物病理学」（1単位・全8回）は令和元年11月26日（火）、「動物形態機能学・組織学実習」（1単位・全10回）は令和元年12月24日（火）・25日（水）、事前事後授業が不定期に行われる「臨地実習1」は令和元年10月23日（水）、「臨地実習2」は令和元年12月24（火）、「研修・ボランティア活動」は令和元年11月11日（月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学長、学科長、FD・SD委員長には、全科目の授業評価アンケート結果をファイリングし公開した。
- ・科目担当教員には、全ての担当科目の授業評価アンケート結果を公開した。
- ・学生には、全科目の授業評価アンケート結果を綴ったファイルを図書館に設置することで自由に閲覧できる形で公開した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

「ヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会規程」（令和元年5月23日（木）理事会承認）をもとに、以下のとおり説明する。

a 委員会の設置状況

（趣旨）

第1条 この規程は、ヤマザキ動物看護専門職短期大学学則第5条第2項に定めるヤマザキ動物看護専門職短期大学教育課程連携協議会（以下「協議会」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

（協議会の構成員）

第2条 協議会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) ヤマザキ動物看護専門職短期大学長（以下「学長」という。）が指名するヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）の教員その他の職員
- (2) 動物看護師、グルーミングサロン、ペットショップ又はその他の動物関連産業に係る職業に就いている者又はこれらの職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動する関係者であって当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者
- (3) 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者
- (4) 臨地実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者
- (5) 本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認める者

ｂ 委員会の開催状況（回数や開催日など）

第6条 協議会の開催は、過半数の構成員の出席を必要とする。

2 議長が必要と認める場合、構成員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

ｃ 委員会の審議事項等

第5条 協議会は、次の各号に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

(1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項

(2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

ｄ その他

委員については、令和2年4月に1名の交代があった。教育課程連携協議会の名簿は資料6のとおりである。

退任したのは、専門職大学設置基準第11条第2項の三「地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者」に該当する構成委員の渋谷区役所危機管理対策部危機管理対策部長 山中昌彦氏であり、同氏は令和2年4月1日付で他部署へ人事異動したことによる理由で、退任の申し出があり、これを受理した。

同氏の後任としては、令和2年4月1日付で、同じく渋谷区役所危機管理対策部危機管理対策部長に就任した齊藤和夫氏を選任した。

② 審議状況

ａ 審議した内容

令和元年度第1回教育課程連携協議会（11月28日）の出席者・審議内容等は以下の通りである。

・構成員の出席者

学科長花田道子、兵藤哲夫、山中昌彦、藤田秀一

・オブザーバーとしての出席者

学長、臨地実務実習担当教員2人、事務局長、担当職員

・審議事項

動物産業界との連携を踏まえて、以下の議題を審議した。

議題：『臨地実務実習の改善点及び「臨地実習1」の評価について』

本学の臨地実務実習担当教員から、臨地実務実習の内容（見学、事前教育、実習内容等）及び課題についての説明があり、接遇マナー、体調管理、事前学修、アレルギーのある学生の受け入れ、臨地実務実習に対する総合評価について審議した。

・構成員からの臨地実務実習に対する総合評価

第1回教育課程連携協議会においては、令和元年夏季に実施した臨地実務実習（「臨地実習1」及び「臨地実習2」）の教育課程について審議し、実施状況については、良好であるとの評価を受けた。

・本学から構成員への回答

学長が、教育課程連携協議会からの意見をふまえ、さらに実習教育を充実させていく旨を回答した。

・次回の開催

第2回教育課程連携協議会は、同様に臨地実務実習等の教育課程について4月に審議することを予定していたが、新型コロナウイルス感染症に関わる自粛要請に対応し開催を延期した。第2回教育課程連携協議会の開催時期は新型コロナウイルス感染症の終息状況を見極め開催する。

ｂ 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

教育課程連携協議会において審議された内容を教授会に報告し、臨地実務実習委員会において臨地実務実習のさらなる内容充実を図る。なお、専門職短期大学の特徴となる展開科目については、教育課程連携協議会の意見を参考に完成年度以降に科目の見直し及び教員の配置等を検討する。

ｃ 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

教育課程については、教育課程連携協議会の意見を勘案し、聴取した意見を教務委員会で検討の上、教授会の意見を聴いて、学長が教育課程に反映する予定である。さらに、その結果を教育課程連携協議会に報告するというPDCAのサイクルを構築する予定である。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、建学の精神及び教育理念に基づき、動物愛護の精神に則り、動物看護学の教育と研究を行い、動物関連産業界の将来を担う人材養成に取り組んでいる。

開学初年度となる令和元年度においては、設置計画に基づき人材養成に取り組んだ。学生の授業への取り組み状況（出席状況）もよく、概ね初年度教育の目的を達成したと考えている。

定員充足については、設置認可日の関係で学生募集活動の開始が12月になったため、入学定員を満たすことができなかったが、令和2年度は、入学定員を充足した。

今後も全学的に本学科の教育目的及び目標を達成するために、学長のリーダーシップの下、教育・研究を推進し、経営面では法人部門との連携をはかりながら、全教職員が教学の使命・目的を十分に理解し教育研究の向上に努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年6月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和7年度に認証評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【設置計画履行状況報告書・補足説明資料(専門職大学等)】

(共通留意事項)

- 「認可(設置)時の計画」には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」で記載した計画を記入ください。
- 認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。
- 「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。
その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

① 入学者選抜

認 可 (設 置) 時 の 計 画	履 行 状 況
・ 入学者選抜の実施方法(定員枠、入試科目) 本学では、アドミッションポリシーに基づき、以下の入学者選抜を実施する。 1 一般入学試験 必要な基礎学力を判定するため独自の学力検査の結果及び出願書類の内容を総合的に判定して行う。 定員枠は10名とし、理科(生物基礎または化学基礎から選択)及び英語(リスニング除く)の2科目を試験科目とする。 2 AO入学試験 専門職短期大学の教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、本学独自に実施する面接試験の成績、資格・検定試験等の成績、各種大会等の活動や顕彰の記録その他の資料を活用するとともに、高等学校の教科の評定平均値、特に選択科目で履修している生物基礎・化学基礎の評定平均値を重要視して合否判定に用いて入学者選抜を実施する。 定員枠は50人とし自己推薦文(各種資格、各種検定試験の成績、弁論大会やボランティア活動、在学中の学校内での活動、動物飼育体験の実績等)、小論文、面接、評定平均値の内容を総合的に判定する。 3 指定校推薦 本学が指定する高等学校の現役生で、高等学校での調査書の評定平均値が3.2以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長が責任をもって推薦できる者を対象とする。 定員枠は15人とし、小論文、面接、出願書類を総合的に判定する。 4 公募推薦 高等学校の現役生及び高等学校卒業後1年以内の者で、高等学校での調査書の評定平均値が3.0以上であり、本学への入学を専願とし、試験合格後は必ず入学することを確約できる者であり、高等学校長の推薦を受けた者を対象とする。 定員枠は5人とし、小論文、面接、出願書類を総合的に判定する。 また、入学前教育としてAO入試及び推薦入試の合格者を対象に、思考力や表現力を問うために、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、感想文を提出させる。提出された感想文は、教員による添削の上、提出者にフィードバックする。 ・ 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 動物関係の資格保有者や動物病院をはじめとする動物関連企業で勤務した経験がある者で、今後学び直しを希望し、動物看護師を目指す者。または一般選抜と同様の大学入学資格を有し、入学年度の4月1日に満22歳以上である者を対象とする。 定員枠は若干名とし、小論文、面接、出願書類を総合的に判定する。 なお、入学手続者に対し、動物看護実習に係る学力と関連する理数系科目について入学までに取り組むべき課題を課すこととする。	※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。 1 一般入学試験 「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画とおりである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料7のとおりである。 一般入学試験では、入学志願表の「本学以外に受験する大学・短期大学・専門学校」の記入欄に併願先の記入のあった10人の内、6人の入学辞退可能性を見込んで、募集定員10人、受験者16人のところ、16人を合格者とした。結果的には合格者の内、3人が辞退し、13人が入学した。 2 AO入学試験 「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施回数、受験者、合格者、入学者は資料7のとおりである。 AO入学試験では、募集定員50人、受験者86人のところ、入学辞退者の見込みを含め、74人を合格者とした。結果的には7人が辞退し、67人が入学した。 3 指定校推薦 「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施方法は設置計画の通りである。実施回数、受験者、合格者、入学者は資料7のとおりである。 指定校推薦入学試験では、募集定員15人、受験者10人のところ、10人を合格者とし、10人が入学した。 4 公募推薦 認可「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施回数、受験者、合格者、入学者は資料7のとおりである。 公募推薦入学試験では、募集定員5人、受験者7人のところ、4人を合格者とし、4人が入学した。 AO入学試験及び推薦入学試験の入学許可者に、最近のトピックスの中から興味を持ったニュースを選び、自身で考えたこと・感じたことを800字以内にまとめる課題を課した。提出された課題は専任教員が内容を確認し、必要なコメントを付けたうえで、学生へフィードバックした。 ・ 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 「認可(設置)時の計画」に基づき履行した。 実施回数、受験者、合格者、入学者は資料7のとおりである。 社会人入学試験では、募集定員若干名、受験者1人のところ、厳正なる審査と成績確認を行い、合格基準を満たした1人を合格とした。 社会人選抜における入学手続者が3年間の動物看護実習に継続して参加できるようにするため、入学前教育として入学許可者に対して、動物看護実習に係る学力と関連する理数系科目(数学、生物、化学)の課題を課した。

② 臨地実務実習

認 可（設 置）時 の 計 画	履 行 状 況
・ 実習先の確保の状況 本学園は、日本ではじめて動物看護という領域の職業を確立し、以来50年にわたり動物関連産業及び多数の動物関連団体と深い絆を結んできた。 このため、動物病院及び動物関連企業と長年にわたる交流があり、その結果、臨地実務実習先として全国325施設の承諾を得ている。なお、1都6県からの進学者が見込まれることや教員の巡回指導及び学生の移動方法に鑑み、原則として1・2年次は1都6県を中心に臨地実務実習に参加することとする。なお、1都6県の臨地実務実習先は317件であり、実習先は十分に確保されている。 ・ 実習水準の確保の方策 臨地実務実習のため「臨地実務実習委員会」を設置し、実習施設を選定して実習施設側と対応し事前事後教育及び教員の訪問計画を立案・実行する。 実習に際しては、専任教員による事前教育、事後教育を行う他、専任教員の分担による訪問を実施する。実習施設において実習指導担当者を選任していただき、実習指導者と事前の打ち合わせを行う。実習後の学生からの実習ノートによる報告、実習先の評価書に基づき、実習担当の専任教員により成績を評価する。 臨地実務実習施設を選定する基準について、以下のとおり動物病院と動物関連企業の業種ごとに説明する。	※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。 ・ 実習先の確保の状況 令和2年度入学者は95名であり、定員80名より15名超過した。 1年次後期・2年次前期科目である「臨地実習1」の実習先である本学併設ペットサロン「シブヤ・ドッグ・ビューティー」及び「臨地実習2」の実習先である本学併設動物病院「アニマル・メディカル・センター」における臨地実務実習では、科目配当期間内に全学生が、実習を終了する予定であり、定員超過による問題は発生していない。具体的な学生の配置状況は、「臨地実習1」は1日平均2～3名、施設の大きな「臨地実習2」は1日平均4～5名である。 なお、実習学生の配置表は資料8の通りである。 2年次以降の臨地実務実習科目である「臨地実習3」及び「臨地実習5」の実習先となる動物病院については、設置認可申請時に臨地実務実習先として、165件を確保しているため、問題無く実施できる。（資料9） 同じく2年次以降の開講科目である「臨地実習4」及び「臨地実習6」の実習先となる動物関連企業等については、設置認可申請時に臨地実務実習先として160件を確保しているため、充分に対応できる。（資料9） ・ 実習水準の確保の方策 令和元年度は学科長を委員長とした臨地実務実習委員会を中心に以下の通り実習水準の向上に取り組んだ。 ・ 委員会の開催及び審議事項等 第1回 令和元年4月23日（火） 出席者数：16人（専任教員10人、職員6人） 教員から選出される委員と担当事務職員で開催。 審議事項：①実習先の確保の状況 ②実習水準の確保の方策 ③実習先との連携体制及び今後のスケジュール等 第2回 令和元年9月17日（火） 出席者数：17人（専任教員10人、学外実習指導者1人、職員6人） 審議事項：①臨地実務実習の中間報告 ②今後のスケジュールについて ③その他、臨地実務実習の実施を通して気づいた点等の報告 第3回 令和元年10月15日（火） 出席者数：10人（専任教員7人、学外実習指導者1人、職員2人） 審議事項：①事後教育の内容について ②今後のスケジュール（日程）③実習先からの要望について（事前教育での注意点について、教員による巡回指導について） 第4回 令和2年1月7日（火） 出席者数：15人（専任教員11人、職員4人） 報告事項：①「臨地実習1」及び「臨地実習2」の実施報告 審議事項：「臨地実習3」について①各実習受け入れ先の依頼時期について ②実習先の選定及び次回の検討事項について 第5回 令和2年2月12日（水） 出席者数：10人（専任教員5人、職員5人） 審議事項：「臨地実習3」について①動物病院への依頼手順について ②依頼状の発送時期について ③動物病院からの問い合わせ窓口について 令和元年度の臨地実務実習は、夏季休暇中と春季休暇中に実施した。「臨地実習1」は渋谷キャンパス1号館に併設されているペットサロン（シブヤ・ドッグ・ビューティ）で、「臨地実習2」は、同じく併設されている動物病院（アニマル・メディカル・センター）で各々3日間実施した。また、実習前には、教員と実習先指導者とのミーティングを複数回実施し、実習先が重要視している実習を通して学修して欲しい事項、問題点や課題等について確認した。実習後には、実習先指導者を臨地実務実習委員会にオブザーバーとして招聘し、現場での問題点や課題等について報告を受けた。

<動物病院> ・本学園の臨地実務実習病院若しくは卒業生が就職している動物病院で、臨床経験5年以上の獣医師、動物看護の経験が3年以上の動物看護師がいる動物病院である。 ・学生が実習期間中に自宅から通える範囲(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県の1都6県)である。	<動物病院> 令和元年度においては、本学併設の動物病院「アニマル・メディカル・センター」において、「臨地実習2」を行った。 ・実習水準向上の方策 設置計画に基づき、動物病院において実務家として社会に貢献する人材を養成するため、「臨地実習2」の動物病院は併設の「アニマル・メディカル・センター」(小規模動物病院)を選定した。 「アニマル・メディカル・センター」には本学園の卒業生が就労しており、臨床経験5年以上の獣医師及び動物看護の経験が3年以上の動物看護師が指導にあたり、実習指導者の基準を十分に満たしている。さらに、実習指導者には、本学開催のFD・SD研修会に積極的に参加を促し、その職業分野に関する識見等を広げることにより、実習水準の向上に努めている。 臨地実務実習は以下の流れで指導し、実習内容の充実を図っている。 ・事前教育 (1)学生は『「臨地実習2」夏の本実習に向けて』と題したレポート①不安に感じること②期待すること、③学びたいことをまとめ、担当教員へ提出した。それを受けて教員は不安の解消に努め、学生自身が目標を持って実習に臨むよう意識付けを行った。 (2)学生はオリエンテーションを経て実習先の見学を行い、「見学実習レポート」を提出した。 ・実習期間中 学生は実習日誌にあたる『「臨地実習2」動物病院実習レポート』を作成した。 ・実習後 (1)学生はアニマル・メディカル・センターでの実習中に与えられた課題について一般的な薬剤の効能や疾病の説明等をまとめ、担当教員へ提出した。 (2)教員は実習指導者による『「臨地実習2」評価書』を受理の上、評価内容を確認した。 ・事後教育 学生の自己評価と実習指導者による評価に基づき、学生は次の3項目についてグループディスカッションを行い、実習のまとめを作成した。 ①修得した技術について ②修得が困難であった技術について ③インシデント(ヒヤリ・ハット)について 上記①～③については、グループの代表者が発表した。その結果をもって「臨地実習2」の検証を行い、科目担当教員で意見交換の上、臨地実務実習委員会に報告した。 臨地実務実習委員会における臨地実務実習の検証結果は、令和2年開催予定の第2回教育課程連携協議会の議題とし、外部委員の意見を反映し内容の改善に役立てる。
<動物関連企業等> ・本学園の卒業生が就職している企業・店舗を含み、経営が安定している動物関連企業等である。 ・3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる企業・店舗等である。 ・学生が実習期間中に自宅から通える範囲(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県の1都6県)である。 ・その他の動物関連企業 その他のペット関連企業においては、ペットフード、ペット用品ほかのペット関連商品の販売等を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、3年以上継続的に営業している店舗等 ・動物関連団体 動物に関する公益団体等で公益的な活動を学ぶことができ、3年以上の実務経験者による指導が受けられ、継続的に営業している事務所等	<動物関連企業等> 令和元年度においては、本学併設のペットサロン「シブヤ・ドッグ・ビューティ」において、「臨地実習1」を行った。 ・実習水準向上の方策 「臨地実習1」では、設置計画に基づき、本学園の卒業生が就労し、3年以上の実務経験を持つ従業員が実習指導にあたる併設の「シブヤ・ドッグ・ビューティ」を選定した。実習指導者には、本学開催のFD・SD研修会に積極的に参加を促し、その職業分野に関する識見等を広げることにより、実習水準の向上に努めている。 学生に対しては、「臨地実習2」同様に事前教育・事後教育を以下の流れで指導し、実習内容の充実を図っている。 ・事前教育 (1)学生は『「臨地実習1」夏の本実習に向けて』を作成した。 (2)学生はオリエンテーション後、実習先の見学を行い、「見学実習レポート」を提出した。 ・実習期間中 学生は実習日誌にあたる「臨地実習1 シブヤ・ドッグ・ビューティ 実習レポート」を作成した。 ・実習後 教員は実習指導者による『「臨地実習2」評価書』を受理の上、評価内容を確認した。 学生は課題「犬の品種について」のレポートを作成した。レポートでは各自1品種を選定し、その犬種の歴史やグルーミング方法等、写真、イラストなどを用いてまとめた。また、お礼状作成の練習を行った。 ・事後教育 学生はグループディスカッションの実施及び実習のまとめを作成した。 このディスカッションで学生は、自己評価と実習指導者による評価を参考にディスカッションを行った。 グループディスカッション後には、①Plan(計画)②Do(実行、実施)を、③Check(評価、検討)④Action(改善、見直し)をディスカッションシートにまとめる学修を行い、各グループごとに報告を行った。 事後教育の最後に、学生は「臨地実習1」のまとめを提出した。 以上のように、事後教育において実習の振り返りを十分に行い学修成果を高めるとともに、授業を学生と教員双方の立場から検証し、次年度以降の学生の実習水準向上に役立てる。

・ 実習先との連携体制 臨地実務実習施設の実習指導者と本学の実習担当教員が適時に連絡を取り、実習全般の調整を行う。実習担当教員は、実習中の巡回指導時において本学と実習施設と情報交換し、十分な連携を図る体制を構築する。 実習施設への巡回は、実習期間の前後及び期間中に原則として1回実施するものとし、実施施設からの要望に応じても訪問する。巡回指導時には、実習目標の達成や課題について本学教員、学生、実習指導者が相互に認識し合い、連携した指導体制とする。 巡回指導時には、学生からの問題点や学習の達成状況等について、実習が円滑に展開するために指導・支援し、学生の抱える悩みについて相談を受け、指導・助言して実習の充実を図る。 実習担当教員は、臨地実務実習委員会と一体となって、臨地実務実習の計画・実施・評価、臨地実務実習指導体制の構築、実習施設の実習指導者との実習内容と実習方法の連絡・調整を行う。実習施設の実習指導者は、業務について経験と知識・技術を持ち、本学の提示する実習計画に基づき実習環境を整備し、スタッフとの調整、実習の評価等を行い、本学実習担当教員との連絡にあたる。 ・ 連携実務演習等 記載なし。	
--	--

③ その他

認 可（設 置）時 の 計 画	履 行 状 況
・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置 展開科目の1クラス80人として開講する科目は、著名な非常勤講師を招聘しているため、教育効果を配慮して授業終了後にメール等による質疑応答等を行う。更に、各学期授業終了後の授業評価を次年度の授業の改善に繋げ、教育効果の質を向上させるよう配慮する。	※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。 令和元年度は「心理学」において、兼任講師 加藤理恵氏の体調不良（眩暈、不眠、胃痛等のストレス症状）により2クラスでの開講が難しくなったため、1クラス59人にて開講した。 そのため、十分な教育効果を上げるために次のような取組を行い配慮した。 ・ グループワークを取り入れ、ディスカッション、協同での課題取り組みを行わせることにより学生の理解を深め、モチベーションを高める工夫を行った。 ・ 毎回リアクションペーパーとして質問や感想を書く課題を与え、それに対して次回の講義において講師より説明を行うというインタラクティブに学習できる環境作りを行った。 なお、加藤理恵氏より令和2年度兼任講師辞退の申し出があり、後任の兼任講師として渡辺紀子氏が就任した。

以下の資料は、防犯上の理由及び個人情報のため、非公開とした。

資料 1 ヤマザキ学園 渋谷キャンパス 2 号館 B 棟増築工事費用及び付帯費用概算計画（案）

資料 2 学校法人ヤマザキ学園 渋谷キャンパス 2 号館 B 棟増築計画

資料 3 教室一覧（設置認可申請書添付資料）

資料 6 教育課程連携協議会構成員名簿

令和2年度 ヤマザキ動物看護専門職短期大学 時間割(後期)

曜日	学年	クラス	1時限 9:10～10:40			2時限 10:50～12:20			3時限 13:10～14:40			4時限 14:50～16:20								
			科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員						
月	1年	A	動物臨床検査学実習			371 実習室③	371 実習室③	藤原・山村	動物臨床看護学(基礎・内科)実習			371 実習室③	371 実習室③	花田・鈴木						
		B	動物臨床看護学(基礎・内科)実習						動物臨床検査学実習											
	2年	A	臨地実習A			341	341	花田・本田 他	臨地実習B			341	341	花田・本田 他						
		B	臨地実習B						臨地実習C											
火	1年	A				キャリアマネジメント(選)			131・132	荒木	動物形態機能組織学			341	本田	動物形態機能組織学・組織学実習	371 実習室③	高柳・山村		
		B	キャリアマネジメント(選)	131・132	荒木	動物形態機能組織学														
	2年	A				高齢者心理(選)	342	渡辺	高齢者心理(選)			342	渡辺	環境生物学(選)	361・362	谷川				
		B	コンパニアニオンドッグトレーニング実習			351・352			山本	社会学(選)							341	新島		
水	1年	A	動物形態機能組織学・組織学実習			371 実習室③	371 実習室③	高柳・山村	動物形態機能組織学・組織学実習			社会学(選)	341	新島	社会学(選)	341	新島			
		B	動物感染症学	342	藤村				動物臨床検査学									342	藤原	生活とアート(選)
	2年	A	コンパニアニオンドッグトレーニング実習			361・362	361・362	山本	コンパニアニオンドッグトレーニング実習			342	天野	生活とアート(選)	361・362	長能	野生動物学	341	杉山	
		B	コンパニアニオンドッグトレーニング実習						351・352	山本	動物行動学									341
木	1年	A 前半	コンパニアニオングアニマルケア実習(基礎)			301 実習室①	301 実習室①	宮田	動物行動学			341	杉山	動物病理学	341	藤村	動物行動学	341	杉山	
		A 後半	英語Ⅰ						英語Ⅰ											
	2年	A 前半	英語Ⅰ	342	加藤	342	342	加藤	動物看護学・ソーシャルワーク	131・132	山川	動物看護学・ソーシャルワーク	131・132	山川	コンパニアニオングアニマルケア実習(応用)	301	宮田・早田	英語Ⅰ	341	加藤
		B 後半	動物臨床栄養学	361・362	花田	動物看護学・ソーシャルワーク	131・132	山川	動物看護学・ソーシャルワーク	131・132	山川	動物看護学・ソーシャルワーク	131・132	山川	コンパニアニオングアニマルケア実習(応用)	301	宮田・早田	英語Ⅰ	341	加藤
金	1年	A 前半	動物感染症学	341	藤村	動物臨床検査学	342	藤原	コンパニアニオングアニマルケア実習(基礎)			301 実習室①	301 実習室①	宮田	臨地実習1・2			342	本田・井上 他	
		A 後半							英語Ⅰ						英語Ⅰ					
	2年	A 前半	コンパニアニオングアニマルケア実習(基礎)			201 実習室①	201 実習室①	宮田	動物臨床看護学(外科)実習			371 実習室③	371 実習室③	高柳・井上	コンパニアニオングアニマルケア実習(応用)			301	宮田・早田	
		B 後半	動物臨床看護学(外科)実習						動物臨床看護学(外科)実習						動物臨床看護学(外科)実習					371 実習室③
土	1年	A	臨地実習1・2			361・362	361・362	本田・井上 他	研修ボランティア活動(選)【全学年共通】			342	井上・山村	研修ボランティア活動(選)【全学年共通】	342	井上・山村				
		B	臨地実習1・2						動物トータルケア総合演習1 / 研修ボランティア活動(選)【全学年共通】								361・362	山田・藤原 / 井上・山村		
	2年	A	動物トータルケア総合演習1			131・132	131・132	山田・藤原	動物トータルケア総合演習1 / 研修ボランティア活動(選)【全学年共通】			361・362	山田・藤原 / 井上・山村	動物トータルケア総合演習1 / 研修ボランティア活動(選)【全学年共通】	361・362	山田・藤原 / 井上・山村				
		B	動物トータルケア総合演習1						動物トータルケア総合演習1 / 研修ボランティア活動(選)【全学年共通】								361・362	山田・藤原 / 井上・山村		

※「臨地実習1」/「臨地実習2」 1年 夏季休暇または春期休暇中に実施
※「臨地実習3」 2年 夏季休暇中に実施
※「動物実習短期留年(選)」 2・3年 通年開講

※「臨地実習4」 2年 春学期中に実施

令和3年度 ヤマザキ動物看護専門職短期大学 時間割(前期)

曜日	学年	クラス	1時限 9:10~10:10		2時限 10:50~12:20		3時限 13:10~14:40		4時限 14:50~16:20	
			科目	教室	担当教員	科目	教室	担当教員	科目	教室
月	1年	A	公衆衛生学	342	木田	コンハニオンアニマルケア論	342	木田	コンハニオンアニマルケア論	342
	2年	B	英語Ⅱ(通)	341	加藤	英語Ⅱ(通)	341	加藤	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
火	3年	A				産業論	361・362	未定	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
	1年	B	動物生理・解剖学	341	谷川・鎌田	コミュニケーション論(通)	341	藤巻	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
水	2年	A	コミュニケーション論(通)	342	藤巻	動物生理・解剖学	342	谷川・鎌田	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
	3年	B	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
木	1年	A	動物生理・解剖学	341	宮田・早田 小嶋	生命倫理学	341	山北	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
	2年	B	生命倫理学	342	山北	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	342	宮田・早田 小嶋	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
金	3年	A	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
	1年	B	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
土	2年	A	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②
	3年	B	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	361・362	龍木・長岡	動物臨床看護学(基礎・内科)実習	321 実習室②

・「動物実習5」/「動物実習6」1年 夏学期前半は春期休暇中に実施
・「動物実習5」/「動物実習6」2年 夏学期前半は春期休暇中に実施
・「動物実習5」/「動物実習6」3年 夏学期前半は春期休暇中に実施
・「動物実習5」/「動物実習6」4年 夏学期前半は春期休暇中に実施
・「動物実習5」/「動物実習6」5年 夏学期前半は春期休暇中に実施
・「動物実習5」/「動物実習6」6年 夏学期前半は春期休暇中に実施

[illegible]

「觀摩實習」／「觀摩實習」1年 夏季休業主は春期休業中に実施

「臨地実習」三年 夏休中に実施

「臨地実習4」2年 春季休暇中実施

○学校法人ヤマザキ学園専任教員定年規程

平成22年4月1日

制定

(趣旨)

第1条 この規程は、学校法人ヤマザキ学園就業規則第38条第1項の規定に基づき、ヤマザキ動物看護大学及びヤマザキ動物看護専門職短期大学（以下「本学」という。）の専任の教授、准教授、講師及び助教（以下「専任教員」という。）の定年に関する事項を定める。

(定年の年齢)

第2条 本学専任教員の定年は、満70歳とする。

(退職金の支給)

第3条 定年により退職する者には、別に定めるところにより、退職金を支給する。

(専任教員の雇用の更新)

第4条 第2条の規定にかかわらず、教育・研究上必要と認める専任教員については、理事長が学長と協議の上、定年により退職した後、引き続き1年ごとに雇を更新することができるものとする。ただし、原則として雇を更新して勤務する最高の年齢は、満73歳とする。

2 前項の規定にかかわらず、理事会において特に必要があると認められる場合は、雇を更新して勤務する最高の年齢を延長することができる。

第5条 第2条の規定にかかわらず、本学が必要と認めて専任教員として採用した場合の当該専任教員についても、前条に定めるところによる。

(特任教授等)

第6条 第2条の規定にかかわらず、専任教員について特定分野の教育及び研究上特に必要と認めるときは、定年により退職した後、引き続き1年ごとに雇を更新し、特任教授、特任准教授又は特任講師（以下「特任教授等」という。）として再任用することができる。

2 前項の規定にかかわらず、70歳を超えて新たに専任教員として採用した場合の当該専任教員についても、前項に定める特任教授等として任用することができる。

3 特任教授等の任用に関し必要な事項は、別に定める。

(定年退職の日)

第7条 定年による退職の日は、当該年度の3月31日とする。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改正及び廃止は、理事会の議を経て理事長が行う。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。ただし、平成25年3月31日までに第4条に定める年齢に達する者で、ヤマザキ動物看護大学設立に際して採用される専任教員については、同第4条及び第5条の規定にかかわらず、その雇用を平成26年3月31日まで延長するものとする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日までに第4条に定める年齢に達する者で、ヤマザキ学園大学大学院設置に際して大学院の授業科目を担当する専任教員については、第4条及び第5条の規定にかかわらず、その雇用を大学院開設から2年間延長するものとする。

附 則

この規程は、平成25年11月28日から施行する。

附 則（平成26年1月23日理事会承認）

この規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

附 則（平成29年7月20日理事会承認）

この規程は、平成30年4月1日から改正施行する。

附 則（平成29年9月21日理事会承認）

この規程は、平成31年4月1日から改正施行する。ただし、平成33年3月31日までに第4条第1項に定める年齢に達する者で、ヤマザキ動物看護専門職短期大学設置に際して採用される専任教員については、第4条第1項及び第5条の規定にかかわらず、その雇用を平成34年3月31日まで延長するものとする。

附 則（令和元年11月14日理事会承認）

この規程は、令和2年4月1日から改正施行する。

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 令和2年度入学試験実施状況

	一般入学試験	A0入学試験	指定校推薦	公募推薦	社会人入学試験	合計
募集人員	10	50	15	5	若干名	80
設置回数	2	6	2	2	2	14
実施回数	2	6	1	2	1	12
受験者	16	86	10	7	1	120
合格者	16	74	10	4	1	105
入学者	13	67	10	4	1	95

「臨地実習1」(1年Aクラス) 実習日程表

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1		8/1(土)、2(日)、6(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
2		8/1(土)、2(日)、6(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
3		8/2(日)、7(金)、14(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
4		8/7(金)、15(土)、16(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
5		8/14(金)、15(土)、17(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
6		8/16(日)、18(火)、19(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
7		8/16(日)、18(火)、21(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
8		8/17(月)、19(水)、20(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
9		8/20(木)、22(土)、23(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
10		8/21(金)、22(土)、23(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
11		8/23(日)、24(月)、25(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
12		8/24(月)、25(火)、26(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
13		8/26(水)、27(木)、28(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
14		8/27(木)、28(金)、29(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
15		8/29(土)、30(日)、31(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
16		8/30(日)、31(月)、9/1(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
17		8/30(日)、9/1(火)、2(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
18		9/2(水)、3(木)、4(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
19		9/3(木)、4(金)、5(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
20		9/5(土)、6(日)、7(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
21		9/6(日)、7(月)、8(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
22		9/6(日)、8(火)、9(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
23		9/9(水)、10(木)、11(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
24		9/10(木)、11(金)、12(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
25		9/12(土)、13(日)、14(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
26		9/13(日)、14(月)、15(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
27		9/13(日)、15(火)、16(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
28		9/16(水)、17(木)、18(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
29		9/17(木)、18(金)、19(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
30		9/19(土)、20(日)、23(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
31		9/20(日)、23(水)、24(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
32		9/20(日)、24(木)、25(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
33		9/25(金)、26(土)、27(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
34		9/26(土)、27(日)、10/3(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
35		9/27(日)、10/3(土)、4(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
36		10/4(日)、10(土)、11(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
37		10/4(日)、10(土)、11(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38		10/11(日)、17(土)、18(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
39		10/17(土)、18(日)、31(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
40		10/18(日)、31(土)、11/1(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
41		11/1(日)、7(土)、8(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
42		11/1(日)、7(土)、8(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
43		11/8(日)、14(土)、15(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
44		11/14(土)、15(日)、21(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
45		11/15(日)、21(土)、22(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
46		11/22(日)、28(土)、29(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
47		11/22(日)、28(土)、29(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
48		11/29(日)、12/5(土)、6(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
49		12/5(土)、6(日)、12(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

「臨地実習2」(1年Bクラス) 実習日程表

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1		8/14(金)、15(土)、17(月)	アニマルメディカルセンター	
2		8/14(金)、15(土)、17(月)	アニマルメディカルセンター	
3		8/14(金)、15(土)、17(月)	アニマルメディカルセンター	
4		8/15(土)、17(月)、18(火)	アニマルメディカルセンター	
5		8/15(土)、17(月)、18(火)	アニマルメディカルセンター	
6		8/18(火)、20(木)、22(土)	アニマルメディカルセンター	
7		8/18(火)、20(木)、22(土)	アニマルメディカルセンター	
8		8/18(火)、20(木)、22(土)	アニマルメディカルセンター	
9		8/20(木)、22(土)、24(月)	アニマルメディカルセンター	
10		8/20(木)、22(土)、25(火)	アニマルメディカルセンター	
11		8/24(月)、25(火)、26(木)	アニマルメディカルセンター	
12		8/24(月)、25(火)、26(木)	アニマルメディカルセンター	
13		8/24(月)、25(火)、26(木)	アニマルメディカルセンター	
14		8/25(火)、26(水)、27(木)	アニマルメディカルセンター	
15		8/25(火)、26(水)、27(木)	アニマルメディカルセンター	
16		8/27(木)、28(金)、29(土)	アニマルメディカルセンター	
17		8/27(木)、28(金)、29(土)	アニマルメディカルセンター	
18		8/27(木)、28(金)、29(土)	アニマルメディカルセンター	
19		8/28(金)、29(土)、31(月)	アニマルメディカルセンター	
20		8/28(金)、29(土)、31(月)	アニマルメディカルセンター	
21		8/31(月)、9/1(火)、2(水)	アニマルメディカルセンター	
22		8/31(月)、9/1(火)、2(水)	アニマルメディカルセンター	
23		9/1(火)、2(水)、3(木)	アニマルメディカルセンター	
24		9/1(火)、2(水)、3(木)	アニマルメディカルセンター	
25		9/3(木)、4(金)、5(土)	アニマルメディカルセンター	
26		9/3(木)、4(金)、5(土)	アニマルメディカルセンター	
27		9/4(金)、5(土)、7(月)	アニマルメディカルセンター	
28		9/4(金)、5(土)、7(月)	アニマルメディカルセンター	
29		9/7(月)、8(火)、9(水)	アニマルメディカルセンター	
30		9/7(月)、8(火)、9(水)	アニマルメディカルセンター	
31		9/8(火)、9(水)、10(木)	アニマルメディカルセンター	
32		9/8(火)、9(水)、10(木)	アニマルメディカルセンター	
33		9/10(木)、11(金)、12(土)	アニマルメディカルセンター	
34		9/10(木)、11(金)、12(土)	アニマルメディカルセンター	
35		9/11(金)、12(土)、14(月)	アニマルメディカルセンター	
36		9/11(金)、12(土)、14(月)	アニマルメディカルセンター	
37		9/14(月)、15(火)、16(水)	アニマルメディカルセンター	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38		9/14(月)、15(火)、16(水)	アニマルメディカルセンター	
39		9/15(火)、16(水)、17(木)	アニマルメディカルセンター	
40		9/15(火)、16(水)、17(木)	アニマルメディカルセンター	
41		9/17(木)、18(金)、19(土)	アニマルメディカルセンター	
42		9/17(木)、18(金)、19(土)	アニマルメディカルセンター	
43		9/18(金)、19(土)、23(水)	アニマルメディカルセンター	
44		9/18(金)、19(土)、23(水)	アニマルメディカルセンター	
45		9/23(水)、24(木)、25(金)	アニマルメディカルセンター	
46		9/23(水)、24(木)、25(金)	アニマルメディカルセンター	
47		9/24(木)、25(金)、26(土)	アニマルメディカルセンター	
48		9/24(木)、25(金)、26(土)	アニマルメディカルセンター	

「臨地実習1」(1年Bクラス) 実習日程表(案)

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1		2/2(火)、3(水)、4(木)	アニマルメディカルセンター	
2		2/2(火)、3(水)、4(木)	アニマルメディカルセンター	
3		2/2(火)、3(水)、4(木)	アニマルメディカルセンター	
4		2/3(水)、4(木)、5(金)	アニマルメディカルセンター	
5		2/3(水)、4(木)、5(金)	アニマルメディカルセンター	
6		2/5(金)、6(土)、8(月)	アニマルメディカルセンター	
7		2/5(金)、6(土)、8(月)	アニマルメディカルセンター	
8		2/5(金)、6(土)、8(月)	アニマルメディカルセンター	
9		2/6(土)、8(月)、9(火)	アニマルメディカルセンター	
10		2/6(土)、8(月)、9(火)	アニマルメディカルセンター	
11		2/9(火)、10(水)、12(金)	アニマルメディカルセンター	
12		2/9(火)、10(水)、12(金)	アニマルメディカルセンター	
13		2/9(火)、10(水)、12(金)	アニマルメディカルセンター	
14		2/10(水)、12(金)、13(土)	アニマルメディカルセンター	
15		2/10(水)、12(金)、13(土)	アニマルメディカルセンター	
16		2/13(土)、15(月)、16(火)	アニマルメディカルセンター	
17		2/13(土)、15(月)、16(火)	アニマルメディカルセンター	
18		2/13(土)、15(月)、16(火)	アニマルメディカルセンター	
19		2/15(月)、16(火)、17(水)	アニマルメディカルセンター	
20		2/15(月)、16(火)、17(水)	アニマルメディカルセンター	
21		2/17(水)、18(木)、19(金)	アニマルメディカルセンター	
22		2/17(水)、18(木)、19(金)	アニマルメディカルセンター	
23		2/17(水)、18(木)、19(金)	アニマルメディカルセンター	
24		2/18(木)、19(金)、20(土)	アニマルメディカルセンター	
25		2/18(木)、19(金)、20(土)	アニマルメディカルセンター	
26		2/20(土)、22(月)、24(水)	アニマルメディカルセンター	
27		2/20(土)、22(月)、24(水)	アニマルメディカルセンター	
28		2/20(土)、22(月)、24(水)	アニマルメディカルセンター	
29		2/22(月)、24(水)、25(木)	アニマルメディカルセンター	
30		2/22(月)、24(水)、25(木)	アニマルメディカルセンター	
31		2/25(木)、26(金)、27(土)	アニマルメディカルセンター	
32		2/25(木)、26(金)、27(土)	アニマルメディカルセンター	
33		2/25(木)、26(金)、27(土)	アニマルメディカルセンター	
34		2/26(金)、27(土)、3/1(月)	アニマルメディカルセンター	
35		2/26(金)、27(土)、3/1(月)	アニマルメディカルセンター	
36		3/1(月)、2(火)、3(水)	アニマルメディカルセンター	
37		3/1(月)、2(火)、3(水)	アニマルメディカルセンター	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38		3/1(月)、2(火)、3(水)	アニマルメディカルセンター	
39		3/2(火)、3(水)、4(木)	アニマルメディカルセンター	
40		3/2(火)、3(水)、4(木)	アニマルメディカルセンター	
41		3/4(木)、5(金)、6(土)	アニマルメディカルセンター	
42		3/4(木)、5(金)、6(土)	アニマルメディカルセンター	
43		3/4(木)、5(金)、6(土)	アニマルメディカルセンター	
44		3/5(金)、6(土)、8(月)	アニマルメディカルセンター	
45		3/5(金)、6(土)、8(月)	アニマルメディカルセンター	
46		3/8(月)、9(火)、10(水)	アニマルメディカルセンター	
47		3/8(月)、9(火)、10(水)	アニマルメディカルセンター	

「臨地実習2」(1年Aクラス) 実習日程表(案)

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
1		2/2(火)、3(水)、4(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
2		2/2(火)、3(水)、4(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
3		2/3(水)、4(木)、5(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
4		2/5(金)、6(土)、7(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
5		2/5(金)、6(土)、7(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
6		2/6(土)、7(日)、8(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
7		2/8(月)、9(火)、10(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
8		2/8(月)、9(火)、10(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
9		2/9(火)、10(水)、12(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
10		2/12(金)、13(土)、14(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
11		2/12(金)、13(土)、14(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
12		2/13(土)、14(日)、15(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
13		2/15(月)、16(火)、17(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
14		2/15(月)、16(火)、17(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
15		2/16(火)、17(水)、18(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
16		2/18(木)、19(金)、20(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
17		2/18(木)、19(金)、20(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
18		2/19(金)、20(土)、21(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
19		2/21(日)、22(月)、24(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
20		2/21(日)、22(月)、24(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
21		2/22(月)、24(水)、25(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
22		2/25(木)、26(金)、27(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
23		2/25(木)、26(金)、27(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
24		2/26(金)、27(土)、28(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
25		2/28(日)、3/1(月)、2(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
26		2/28(日)、3/1(月)、2(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
27		3/1(月)、2(火)、3(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
28		3/3(水)、4(木)、5(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
29		3/3(水)、4(木)、5(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
30		3/4(木)、5(金)、6(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
31		3/6(土)、7(日)、8(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
32		3/6(土)、7(日)、8(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
33		3/7(日)、8(月)、9(火)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
34		3/9(火)、10(水)、11(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
35		3/9(火)、10(水)、11(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
36		3/10(水)、11(木)、12(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
37		3/12(金)、13(土)、14(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

No.	学籍番号	日程	実習先	備考
38		3/12(金)、13(土)、14(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
39		3/13(土)、14(日)、15(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
40		3/15(月)、16(火)、17(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
41		3/15(月)、16(火)、17(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
42		3/16(火)、17(水)、18(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
43		3/18(木)、19(金)、21(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
44		3/18(木)、19(金)、21(日)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
45		3/19(金)、21(日)、22(月)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
46		3/22(月)、23(火)、24(水)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
47		3/23(火)、24(水)、25(木)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
48		3/24(水)、25(木)、26(金)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	
49		3/25(木)、26(金)、27(土)	シブヤ・ドッグ・ビューティー	

再補正申請時の臨地実務実習先

分野	実習先		施設数
動物病院	動物病院		165
動物関連企業等	(1)	ペットサロン・ペットショップ	91
	(2)	ペットホテル・訓練施設・老犬ホーム・ペット 同伴宿泊施設	23
	(3)	その他のペット関連企業・動物関連団体	46
	動物関連企業等 小計		160
合 計			325

令和2年度 臨地実務実習先施設一覧(動物病院)

番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	備 考
1	アニマルメディカルセンター		
2	長津田ペットクリニック		
3	アマノ動物病院		
4	有限会社磯貝動物病院		
5	安田獣医科医院		
6	ハロー動物病院 韮鎌ヶ谷分院		
7	ゼファー動物病院		
8	木もれ陽動物病院		
9	高木動物病院		
10	カトウ獣医科クリニック		
11	横浜青葉どうぶつ病院		
12	アルフペットクリニック		
13	よしだ動物病院		
14	フローラル動物病院		
15	さきがおか動物病院		
16	いしじま動物病院		
17	市原・山口動物病院		
18	田中動物病院		
19	アステール動物病院		
20	戸田動物病院		
21	美園どうぶつ病院		
22	後藤動物病院		
23	イーリスペットクリニック		
24	東いわつき動物病院		
25	みさと動物病院		
26	どうぶつクリニックNEXT		
27	けやき動物病院 富士見		
28	動物病院くまごろう		
29	みねぎし動物病院		
30	エルザ動物小鳥の病院		
31	小動物診療所		
32	株式会社ワイ・エイ・シー ようが動物病院		
33	本駒込動物病院		
34	ひばり動物病院		
35	赤羽ペットクリニック		
36	梅島動物病院		
37	駒沢どうぶつ病院		
38	かいぬま動物病院		
39	とりうみ動物病院		
40	ふく動物病院		
41	チコラ動物病院		
42	みなみ小金井動物病院		
43	ポウズ動物病院		
44	ココ動物病院		
45	動物病院 川越		
46	株式会社T2コーポレーション たはら動物病院		
47	有限会社国領動物病院		
48	富士見台どうぶつ病院		
49	株式会社船橋どうぶつ病院		
50	岡部獣医科病院		
51	ぬのかわ犬猫病院		
52	吉田動物病院		
53	本郷獣医科病院		
54	ヴァンケット動物病院		
55	ロイヤルペットクリニック 西馬込病院		
56	サム動物病院		

番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	備 考
57	動物病院ヘルスペット		
58	池田動物病院 成城通り		
59	溝の口犬猫病院		
60	かのペットクリニック		
61	仲野どうぶつ病院		
62	ハリーペットクリニック		
63	むかい猫と犬の病院		
64	木村動物病院		
65	松原ペットクリニック		
66	セラピスト動物病院		
67	有限会社 ませ動物病院		
68	池田動物病院		
69	古谷動物病院		
70	湘南なぎさ動物病院		
71	桜ヶ丘どうぶつ病院		
72	久米川みどり動物病院		
73	セキ動物病院		
74	辻堂犬猫病院		
75	広尾動物病院		
76	JOY動物病院		
77	株式会社フェイス1 竹原獣医科医院		
78	かぶくん動物病院		
79	アリーズ動物病院		
80	東京ウエスト動物病院		
81	野毛坂どうぶつ病院		
82	越谷動物医療センター		
83	葉山どうぶつ病院		
84	とねり動物病院		
85	大泉動物病院		
86	ビジョン動物愛護病院 鳩ヶ谷院		
87	ノブ動物病院		
88	中田動物病院		
89	アニマルクリニックこばやし		
90	みつわ台動物病院		
91	アン動物病院		
92	松本動物病院		
93	オアシス動物病院		
94	上田動物病院		
95	アニホスフォレスト株式会社 Pet Clinicアニホス		
96	西湘動物病院		
97	有限会社いちかわ動物病院		
98	マーブル動物医療センター		
99	野田動物病院		
100	指扇ペットクリニック		
101	リバーズ動物病院		
102	七光台どうぶつ病院		
103	有限会社サフムラベッツ 沢村獣医科病院		
104	谷口動物病院		
105	動物病院NORIKO		
106	ワシントン動物病院		
107	コトー動物病院		
108	井上動物病院		
109	かわはら動物病院		
110	一之江どうぶつ病院		
111	マリーナストリートおかだ動物病院		
112	水上犬猫鳥の病院		
113	てらぞの動物病院		
114	ベルノス動物病院		

番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	備 考
115	新習志野どうぶつ病院		
116	千歳船橋あむ動物病院		
117	藤の花どうぶつ病院		
118	公益財団法人 日本小動物医療センター		
119	海浜動物医療センター		
120	はやし動物病院		
121	城山通りどうぶつ病院		
122	つなしま動物病院		
123	吉祥寺どうぶつ病院		
124	株式会社日本動物高度医療センター		
125	石黒動物病院		
126	よしむら動物病院		
127	七里動物病院		
128	ワラビー動物病院		
129	やまなか動物病院		
130	モフ動物病院		
131	エルム動物病院		
132	多摩クラーク動物病院		
133	株式会社GRAND DESIGN 明和動物愛護病院		
134	株式会社マイクレスト クレスト動物病院		
135	関水動物病院		
136	新浦安太田動物病院		
137	ハダ動物病院		
138	あさか台動物病院		
139	アニムペットクリニック		
140	西荻動物病院		
141	上石神井動物病院		
142	ワラビー動物病院グループ はとがや動物病院		
143	どうぶつ眼科 Eye Vet		
144	合同会社 ゆう動物クリニック		
145	株式会社 港北どうぶつ病院		
146	くみ動物病院		
147	株式会社ZR オールペットクリニック		
148	タムどうぶつ病院		
149	山田動物病院		
150	湖畔どうぶつ病院		
151	山本どうぶつ病院		
152	有限会社さがみ中央動物医療センター		
153	ブライト動物病院		
154	向平動物病院		
155	株式会社Vets United アリサ動物病院		
156	高ヶ坂動物病院		
157	株式会社FIELD 森の樹どうぶつ病院		
158	高橋動物病院		
159	Willどうぶつ病院		
160	習志野動物医療センター りょう動物病院		
161	グリーン動物病院		
162	目黒洗足動物病院		
163	畑沢動物病院		
164	小鳥のセンター病院		
165	どうぶつのセンター病院		

令和2年度 臨地実務実習先施設一覧(動物関連企業)

番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	備 考
1	株式会社サンリング ペットサロンSIT		
2	ペットサロン モグMOGU		
3	ペットの保育園Will		
4	トリミングスタジオ Oasis		
5	Pet's Life		
6	ドッグサロンLC		
7	PET SALON KUMIKO		
8	Supreme舞浜スタジオ		
9	株式会社BELL-PET		
10	株式会社ワイズドギー 渋谷西武モントウトウ		
11	グルーミングサロン グリム		
12	ANIER-Dog Grooming Room-		
13	Pet Salon Jupiter		
14	Dog Grooming Salon Cotaz		
15	Dog Place Oasis		
16	ペットサロンうちの仔		
17	株式会社DLC DOGLIFE 川口店		
18	株式会社DLC DOGLIFE 浦和店		
19	シブヤ・ドッグ・ビューティー		
20	アトリエモモワン		
21	ペットショップジュニア池袋		
22	株式会社オーグ うさぎのしっぽ 横浜店		
23	株式会社モントウトウ		
24	ペットの専門店コジマ 新宿店		
25	ペットの専門店コジマ 八王子店		
26	ペットの専門店コジマ 松戸店		
27	ペットの専門店コジマ 竹ノ塚店		
28	ペットの専門店コジマ 青戸店		
29	ペットの専門店コジマ 浦和店		
30	ペットの専門店コジマ 花小金井店		
31	ペットの専門店コジマ 大宮店		
32	ペットの専門店コジマ 目黒店		
33	ペットの専門店コジマ 相模原店		
34	ペットの専門店コジマ 川越店		
35	ペットの専門店コジマ 洗足店		
36	ペットの専門店コジマ 足立店		
37	ペットの専門店コジマ 高井戸店		
38	ペットの専門店コジマ 中野店		
39	ペットの専門店コジマ 三軒茶屋店		
40	ペットの専門店コジマ 阿佐ヶ谷店		
41	ペットの専門店コジマ 新小岩店		
42	ペットの専門店コジマ 板橋店		
43	ペットの専門店コジマ 練馬店		
44	ペットの専門店コジマ 亀戸店		
45	ペットの専門店コジマ 三郷店		
46	ペットの専門店コジマ アリオ葛西店		
47	ペットの専門店コジマ ベイタウン横浜本牧店		
48	ペットの専門店コジマ アリオ柏店		
49	ペットの専門店コジマ 西篠崎店		
50	ペットの専門店コジマ アリオ蘇我店		
51	ペットの専門店コジマ アリオ西新井店		
52	ペットの専門店コジマ アリオ市原店		
53	ペットの専門店コジマ フォルテ津田沼店		
54	ペットの専門店コジマ 六本木店		
55	ペットの専門店コジマ アリオ深谷店		

番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	備 考
56	ペットの専門店コジマ アリオ橋本店		
57	ペットの専門店コジマ 国分寺店		
58	ペットの専門店コジマ 府中店		
59	ペットの専門店コジマ アリオ北砂店		
60	ペットの専門店コジマ モラージュ菖蒲店		
61	ペットの専門店コジマ イーアスつくば店		
62	ペットの専門店コジマ 田端店		
63	ペットの専門店コジマ アリオ亀有店		
64	ペットの専門店コジマ 蕨錦町店		
65	ペットの専門店コジマ 和光店		
66	アサヒペット株式会社 都筑店		
67	アサヒペット株式会社 多摩店		
68	アサヒペット株式会社 湘南店		
69	アサヒペット株式会社 MARK IS みなとみらい店		
70	アサヒペット株式会社 港北ニュータウン店		
71	アサヒペット株式会社 トレッサ横浜店		
72	アサヒペット株式会社 二俣川本店		
73	DOG'S CARE JOKER 六本木ヒルズ店		
74	DOG&CAT JOKER ららぽーと柏の葉店		
75	DOG&CAT JOKER ららぽーと横浜店		
76	DOG&CAT JOKER そごう横浜店		
77	DOG&CAT JOKER そごう大宮店		
78	JOKER DOG&CAT AVENUE 二子玉川店		
79	DOG&CAT JOKER むさし村山店		
80	ヨネヤマプランテーション 本店		
81	ペットエコ横浜 港北ニュータウン店		
82	ペットエコ横浜 湘南店		
83	ペットエコ横浜 都筑店		
84	ペットエコ横浜 多摩店		
85	ペットエコ横浜 世田谷店		
86	ペットエコDPO 元住吉店		
87	ペットエコ トレッサ横浜店		
88	ペットエコ DPO 大口店		
89	ペットエコ横浜 上大岡店		
90	ペットエコ 多摩本店		
91	吉田観賞魚販売(ヨンダ・フィッシュファームズ)		
92	クラブケンケン田園調布店		
93	株式会社ツルサービス のんびーはうす		
94	大井警察犬訓練所		
95	株式会社フロムパピー ファミリーナガーデン南青山		
96	株式会社プレイボウ PLAYBOW 稲城店		
97	株式会社プレイボウ PLAYBOW 向ヶ丘遊園店		
98	株式会社プレイボウ PLAYBOW 中目黒店		
99	株式会社Animal Life Solutions スタディ・ドッグ・スクール		
100	デイケアガーデン グリーングラスロッジ		
101	老犬ホームあしあと		
102	DOG PARTNERS		
103	東京ペットホーム		
104	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート富士		
105	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート箱根雲外荘		
106	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート御影用水		
107	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート蓼科		
108	東京建物リゾート株式会社 レジャーリゾート旧軽井沢		
109	株式会社ベリークルーズ しぶごえ館山		
110	株式会社ベリークルーズ しぶごえ御宿海岸		
111	株式会社ベリークルーズ 修善寺 絆		
112	株式会社ベリークルーズ 鬼怒川 絆		

番号	臨地実務実習施設の名称	所在地	備 考
113	株式会社ベリークルーズ フェニックスウイング白馬		
114	株式会社共立メンテナンス ルシアン旧軽井沢		
115	株式会社フリーステッチ		
116	ZOOJAPAN Co. LTD		
117	ZOO新大久保		
118	ZOO四ツ谷		
119	ZOO恵比寿		
120	ZOO六本木		
121	ZOO新宿		
122	ZOO渋谷サロン		
123	GREEN DOG SQUARE		
124	GREEN DOG 東京ミッドタウン		
125	GREEN DOG 代官山		
126	GREEN DOG 湘南		
127	ビューティプラステラスモール湘南		
128	イオンペット テラスモール湘南		
129	イオンペットしつけ教室 浦和美園		
130	イオンペットビューティサロン 浦和美園		
131	イオンペット 浦和美園		
132	イオンペットビューティサロンペコスレイクタウン		
133	PECOS レイクタウン		
134	ペテモ 与野		
135	ペテモビューティサロン 与野		
136	イオンペットビューティサロン 相模原		
137	イオンペット 相模原		
138	相模原どうぶつ医療センター しつけ教室		
139	ペットインロイヤル幕張新都心		
140	ドッグトレーニング ペコス幕張新都心店		
141	イオンペットビューティサロン ペコス幕張新都心店		
142	イオン動物医療センター幕張新都心(介護)		
143	pecos 幕張新都心店		
144	イオンペット柏		
145	イオンペットビューティサロン 柏		
146	イオンペットビューティサロン 千葉ニュータウン		
147	イオンペット 千葉ニュータウン		
148	ペテモ 日の出		
149	イオンしつけ教室 日の出		
150	ペテモビューティサロン 日の出		
151	乗馬クラブクレイン東京		
152	株式会社湘南動物プロダクション		
153	アニコム損害保険株式会社		
154	ペットメディカルサポート株式会社		
155	公益財団法人 日本動物愛護協会		
156	公益財団法人 日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター		
157	社会福祉法人 日本介助犬協会		
158	特定非営利活動法人 聴導犬育成の会		
159	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会		
160	公益社団法人 日本動物福祉協会 新東京支部		